夕刊
臺灣日日新報
八月十七日

陸軍進級、異動發令

中部軍司令官後宮大將

支那派遣軍總參謀長に河邊中將

【東京發同盟至急報】陸軍省發表（八月十七日）今般左の如く發令せられたり

任陸軍大將　陸軍中將　後宮淳

補中部軍司令官　陸軍大將　後宮淳

補支那派遣軍總參謀長　陸軍中將　河邊正三

後宮陸軍大將　淳

河邊陸軍中將　三　淳

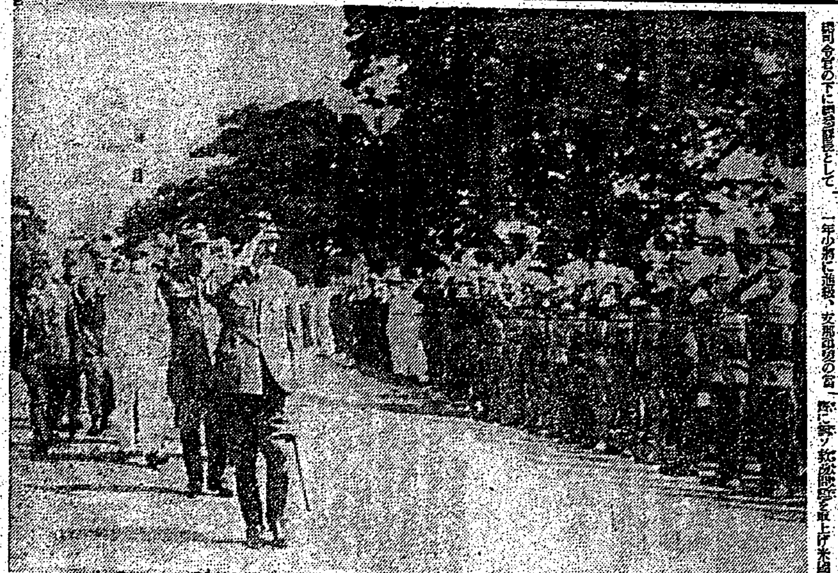
【東京發同盟】支那派遣軍總參謀長後宮淳中將は今回大將に進級、同時に中部軍司令官に親補せられ支那派遣軍總參謀長後任には河邊正三陸軍中將が補せられ右の旨十七日陸軍省から發表された、後宮大將は陸軍以來百十四人目の陸軍大將で東部、北部、中部、西部の四軍司令官中大將が親補されたのは東部軍司令官中村孝太郎大將に次いで今回が二回目で阪神地方の重要性に鑑み國內防衛軍の統率及び民間指導に一層の重きを加へられたものといふべく大東亞戰下國土[illegible]

國土防衛軍の統率と民間指導一層の重み

大陸に武勳後宮大將　京津に勇名河邊中將

後宮大將略歷　【東京發同盟】後宮大將は京都府出身、陸士陸大卒業後參謀本部員、[illegible]

河邊正三中將略歷　河邊中將は富山縣の出身、陸士、陸大卒、ドイツに駐在、參謀本部部員、ドイツ大使館附武官、[illegible]



田中比島方面最高指揮官初登廳

米英の要求をトルコ拒絶回答

【ベルリン十六日發同盟】[illegible]

伊軍戰況發表

【ローマ十六日發同盟】伊軍司令部十五日發表　[illegible]

コーカサス作戰急進展

米英異常な衝撃と焦躁

【リスボン十六日發同盟】ロンドン來電に依ればコーカサス作戰の[illegible]

マイコープ油田

放棄をソ聯確認

【モスクワ十七日發同盟】ソ聯情報部十六日夜發表　[illegible]

ソ聯第二のマイコープ油田

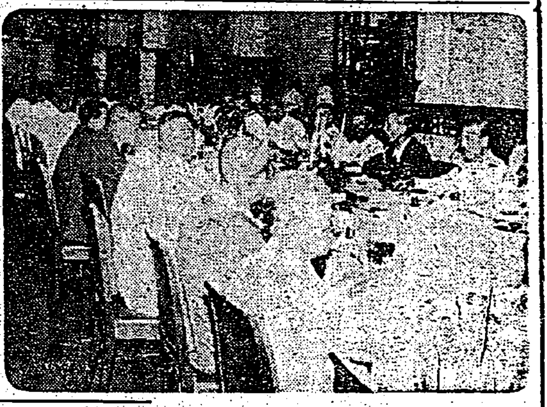
【リスボン十七日發同盟】ソ聯情報部は十六日夜の發表においてマイコープ油田の放棄を認めた[illegible]

人類の敵英の非道

岩崎支那派遣軍報道部長談

【南京十五日發同盟】ガンヂー逮捕と共に[illegible]

平和的假面　[illegible]



カスピ海進出作戰

獨軍の猛進をソ聯確認

【リスボン十六日發同盟】北コーカサスに於ける獨軍の進擊作戰は[illegible]

獨空軍の活躍

【ベルリン十六日發同盟】DNB[illegible]

ス市の西南方六十粁に獨軍到達

【リスボン十六日發同盟】ロイター[illegible]

ヴォルガ河の脅威一段

獨軍、赤軍の防衛陣突破

【リスボン十六日發同盟】スターリングラード及びアストラハン[illegible]

黒海沿岸撤退の赤軍を猛攻

【ベルリン十六日發同盟】獨軍司令部十六日發表　[illegible]

東部全戰線活況

【ベルリン十六日發同盟】獨軍司令部[illegible]

臺灣の協力を懇請

原田連絡部長官新任披露

[illegible]

印度騷擾益々激化

死傷五千名に達す

【リスボン十五日發同盟】[illegible]

東亞解放

新國民運動綱要

華北政務委員會で制定公布

【北京十七日發同盟】華北政務委員會[illegible]

一、國家に忠を盡し
二、東亞を愛し
三、道義を重んじ
四、勤儉を尊び
五、責任を完ふし
六、規律を嚴守す

定例次官會議

【東京發同盟】[illegible]

埃及英軍補給危殆

地中海の制海權既に崩潰

【ブエノスアイレス十六日發同盟】[illegible]

英艦更にジ港入港

【ベルリン十六日發同盟】[illegible]

ガンヂー翁秘書長死

【リスボン十五日發同盟】[illegible]

在印英士官に財産保存權限

【リスボン十六日發同盟】[illegible]

比島文化の救濟

サイデ博士の論說

【マニラ十六日發同盟】[illegible]

人事

[illegible]

食慾は進み　一身體が肥る
自力健康器
使用は簡單　女も子供も老人も
のぼせ性にも便秘症にも！
各店にあります

強く明るく働くこと！
素肌を美しく健かにする完全藥粧料
藥用クラブ乳液

疲勞と脚氣
エビオス
……脚力症狀などは多くB複合體の不足に原因する。殊に夏季は一層注意してこの成分を不足せしめぬやう……本劑の連用が好適である。
發賣元　大日本麥酒株式會社　東京・大阪　田邊商店

肝油以上
弱いお子樣や妊産婦の方に夏もつゞけて樂に服める強力なビタミンA・D劑です
胃腸を害せず　不消化な油を全く含まず國家の研究機關が作つた信用ある強壯劑だから──肝油以上の卓效があります
農林省　水産試驗場創製の夏の体强劑
100錠入　全國藥店にあり
血・貧・核・結・勞・疲
ビタミンA・D+B₁+ホルモン　造血素

特に胃腸弱き人に救ひ
結核菌を滅す血液の還元法
一日一球・夜のむと翌朝は大小便が變り肺肋膜その他結核體は血液良轉肥り出す
大阪
新藥
ネオドラミン

"神なる父"慕ふ勳兒

あす晴れの再會

喜び胸にけふ島都へ集合

聖戰に尊い父を捧げた遺族の遺兒が靖國の社頭で"神なる父"と晴れて再會する日はいよいよあす十八日に迫つた―軍人援護會臺灣本部主催今次事變戰歿勇士遺兒臺灣護國神社參拜は十八日午前十一時同神社境内に各州廳から選ばれた可憐な男女遺兒三十八名集合の上臺灣國の英靈永へに鎭まる護國神社社殿で[illegible]亡き父と感激[illegible]をする事となつてゐるが遺兒たちは絶えて久しき神なる父を偲び再會する喜びに胸を躍らせて十七日夕刻までに各郡々街々から上北、大和町旅館に旅裝を解く、なほ[illegible]遺兒の日程は第一日、十八日の日程は午前九時十分旅館に集合、九時[illegible]列車にて圓山驛へ、十時廿分護國神社に參拜、田村宮司の[illegible]をきき同十一時半[illegible]神なる父と[illegible]を行ひ、終つて松崎社司の訓話をきき、同神社境内で中食後午後二時長谷川總督に[illegible]を訪問[illegible]うけ、それより軍司令部を訪問、軍司令官か參謀長の訓話を受けたのち午後三時半草山へ赴き[illegible]で遺兒の集ひに參加、ここで部隊長の[illegible]をきき座談會等が開かれ同夜草山泊、第二日、十九日は午前九時出發、徒歩で北投へ、十一時半北投公共浴場で中食ののち午後一時五分汽車で臺北に歸着、一時半解散の豫定となつてゐる

遺兒達の喜びもさこそ

松崎社司　晴れのあすを控へ語る

この顯の遺兒をこころまちに待つてゐる人―臺灣護國神社松崎社司は遺兒の上に細かい心遣ひを寄せつつ語る

私は護父の祀られてゐる護國神社へ何とかして勳兒たちをお詣りさせてあげたいといふ氣持で一杯でしたが今度軍人援護會臺灣本部のお骨折りで[illegible]の遺兒たちをお迎へ出來るやうになつたことをしみじみと嬉しく思ひます、遺兒たちの喜びもさこそとお察ししますが、私としては遺兒たちが今度の喜びを永く胸にとどめて從來の上にも精神の上でもまた努力の上でも十分氣をつけて神樣にお祀りされてゐる父のいさをしと名を忘れず早く立派な人間となつて父の遺志をついで皇國をいやが上にも榮えしめる樣努力されんことを祈つてやみません

佛印派遣醫師

團近く壯途へ

佛印在留邦人が待望する邦人醫師[illegible]

總督元氣でけふ登廳

負傷後引籠り官邸内で公務を見てゐた長谷川總督は傷もすつかりとり除はれ快癒したので十七日から從來通り登廳執務することになつた、二週間ぶり、しかも午前八時かつきりに公室に入つた總督は元氣な顔で、ただ變つたところは頭を丸刈にし[illegible]を眼鏡でそつと隱す[illegible]にして[illegible]の記者團に向ひ色々心配かけて濟まなかつた、

全く馬鹿を見たよ、上海では[illegible]れ程彈丸の飛んでゐる中に突立つてゐて破片一つ身に受けなかつたのだが……ながく引籠つて公務も十分見れなかつたのは誠に申譯ないと思つてゐる

と元氣に語つた

橋本海軍三等兵曹の英靈

あす臺北へ凱旋

名譽の戰死を遂げた故海軍三等兵曹橋本勇氏の英靈は遺族に護られ十八日午後二時三十五分着列車にて臺北へ無言の凱旋をなし[illegible]山町二三二番地の自宅へ安置される

梁井知事、田植狀況を視察激勵

臺北州下西部各郡下は今田植のたけなはで農民たちは炎天下に增産[illegible]をつづけてゐるが、梁井知事は十七日午前十時[illegible]、吉澤文教課長を隨へ淡水、基隆兩郡下に出張、田圃におりて正條密植による田植狀況を視察し農民に[illegible]"諸君しつかり頼んだヨ"と激勵した

母艦を離れて出擊に向ふ我が鐵鯨　―海軍省許可濟第五七一號

貴重な記念品も供出

新竹州・金屬回收運動愈よ展開

【新竹電話】新竹州の金屬回收運動は十七日[illegible]を皮切りに開始されたが同街では强て供出すべき品物の展示會を開催、又[illegible]が自發的に[illegible]を[illegible]して金[illegible]、その他居[illegible]等の[illegible]外しに寄付し[illegible]つて生活必需品以外は一物も殘さず獻納する事を申合せ[illegible]花瓶記念品の貴重なもの迄持出す等曾て見ない熱誠を示してゐる、郡[illegible]に同街だけで百トン以上を供出すると云はれるが、十八日も街行するので十八日鈴木知事、北原[illegible]課長等出掛けて激勵する事になつてゐる、同州下各地何れも非常に熱心で前例以上の好成績を擧げ得るものと今から期待されてゐる

拓南農業戰士訓練所

あす全島一齊に入所式擧行

既報の如く拓南農業戰士訓練所本島の[illegible]的[illegible]拓南農業戰士訓練所入所式は各訓練所に於て十八日午前十時より一齊に擧行することになつてゐるが、主なる者として本部より左の役員が臨席する筈である

第二訓練所（[illegible]）參與、松岡[illegible]、松井參事

第三訓練所（[illegible]）參與[illegible]、小野[illegible]、安川參事

第四訓練所（[illegible]）參與[illegible]、[illegible]參事

第五訓練所（[illegible]）參公委員[illegible]、[illegible]參事

第六訓練所（北門）參與[illegible]、[illegible]參事

第七訓練所（[illegible]）參公委員[illegible]、[illegible]參事

[illegible]第一訓練所（[illegible]）では二十一日午前十時から入所式を行ひ本部から[illegible]臨席の豫定である

[illegible]部隊長以下[illegible]を勤勞、[illegible]代表太田第二[illegible]より[illegible]をうけた

學徒らの建設作業狀況

齋藤總務長官視察、激勵

齋藤總務長官は十七日午前九時[illegible]北州學徒奉公隊が目下勤勞奉仕をつづけてゐる臺北市川端町の國[illegible]造成作業を視察した、梁井知事の說明をききつつ約三十分間に亘り炎熱の下、[illegible]となつて活躍する學徒たちの作業振りを[illegible]に視察し"諸君御苦勞"と學徒たちを大いに激勵した

醫學日本の眞價發揮

廣東婦人の畸形腫物の手術に見事成功

臺北出身　葉山醫博日華親善に盡瘁

【廣東にて山口特派員發】邦人醫師が醫學日本の誇りを發揮して世にも珍らしい廣東婦人の畸形腫物を手術そして見事に成功十六年來惱み通した背中の肉の重荷をはづしてやつた醫師を通しての日華親善―その邦人醫師は廣東市大[illegible]二九二號廣東[illegible]醫院[illegible]葉山[illegible]氏その人で、同氏は昭和十四年

現地に

開業して以來[illegible]年市内に於ける華民に對し施療を實施して來たが偶々本年七月中旬[illegible]六回目の施療日に殺到した患者千五百名の中に大新東路[illegible]三五[illegible]といふ[illegible]が異狀な腫物を背負ひ診察を[illegible]て來た一見荷物を背負うた[illegible]畸形の彼女は今から十[illegible]背中が何となく[illegible]上りそれが年月を經るにつれて肥大したもので遂にその腫物は下へ下へと垂れ下り巾三十六センチ、長さ四十五センチ、厚さ十三センチ背中より腰部を半分に[illegible]する塊狀の大瘤と化したものであつた、併し現在迄に肥大してゐなかつた、年頃には彼女も世の[illegible]並に結婚生活に入り二十一歲の時には女兒を分娩し、生れた子供は日に日に肥大する瘤の[illegible]の惱みをよそにすくすくと育つて今年は[illegible]七歲となつてゐる

拋つて

置けばいよいよ肥大する彼女の腫物、だが當時の醫師とてなく剰へ赤貧洗ふが如き有樣では如何ともしがたく惱みを續けてゐた折柄葉山醫師の施療の[illegible]を聞き[illegible]そして又[illegible]せる日本の醫術を[illegible]抱いて[illegible]といふ、葉山博士は直ちに診察を行ひ更に精密に[illegible]つて研究を行つた結果、腫瘍性腫物ではあるが何分[illegible]もある[illegible]の上[illegible]慎重なる態度で一大手術を敢行したのであつた、そしてボックリ切り[illegible]された[illegible]物は何と重さ十九斤に達した[illegible]であつた、流石に醫學日本の[illegible]を發揮して其後の經過は極めて良好、手術して入院後一週間で再び立派な元の體に[illegible]遂に日華親善と醫學日本の[illegible]をあげたのであつた、十數年來一日本人の醫師の手で[illegible]

無料で

[illegible]に[illegible]物腫物[illegible]が[illegible]となつた[illegible]らう、幾度となく葉山醫師に[illegible]を[illegible]し[illegible]乍ら[illegible]として子供や夫に喜ばれて[illegible]が[illegible]山醫博のその[illegible]かな手術振りと施療の篤志に[illegible]した廣東市の華人[illegible]は非常な感[illegible]を表してゐる

同氏は臺北州臺北市太平町出身昭和五年臺北醫專を卒業して十六年臺北帝大醫學部[illegible]衞生學教室に研究生として熱帶衞生研究に精進、十六年八月京大より醫學の學位を受けた篤學の士で十四年一月[illegible]博愛會[illegible]廣東醫院に來[illegible]醫院[illegible]を[illegible]て同年七月現地に於て開業したもので同氏は近く血球の數及[illegible]の[illegible]的研究資料を東京に發表する筈で[illegible]ある（寫眞は葉山博士）

バリ島便り（上）パサル・イカンに買出しに出掛ける原住民の女達（下）鬪鷄に打ち興ずるカンボンの原住民

日米交換船に

臺銀行員乘船

【東京本社特電】交換船淺間丸[illegible]コンテ・ベルデ號は懷しの故國への[illegible]を乘せて一路[illegible]指して[illegible]船足を急いでゐるが淺間丸乘船者中に[illegible]臺灣銀行[illegible]支配人代理井上氏男、同山田[illegible]氏をはじめ[illegible]、[illegible]多賀夫の諸氏がゐる淺間丸[illegible]入港の日[illegible]多年に亘る一行の勞苦に報ゆるため同日在京臺銀重役をはじめ[illegible]者家族など多數が出迎へることになり目下[illegible]東京支店において大[illegible]の準備を進めてゐる

鄉軍西第二分會で武道大會

[illegible]臺北市西第二分會では本年度第一回武道大會を二十二日午後一時から[illegible]國民學校で開催することになつた

自給肥料の一大增產へ

臺北州下各地で研究會開催

高度國防國家體制の完成、國家生産力の增强は國民勤勞の充實[illegible]を基礎とするので皇民奉公會臺北州支部では州下全農民の[illegible]を[illegible]と共に勤勞の充實指導の[illegible]を[illegible]し以て[illegible]時食糧[illegible]の根幹をなす自給肥料の一大增産を來る九月十五日から一週間全州下に亘つて展開することと決定した、同支部ではこれに先立ち趣旨の徹底と具體的指導方法その他につき左記により各市郡並に皇奉各支會を單位に研究會を開催する

△趣旨　自給肥料增産運動週間實施要項に基き第一回の實績に鑑み一層有效なる成果を期せんがため具體的指導研究をなし目標肥料の增産を期す

△研究者出席者　皇民奉公會各分會長及同奉公班長、皇民奉公委員會公班[illegible]長及副區長及び部落會長、地主、篤農家、農業協同組合長、實行委員、其の他適當なる者

△研究事項　趣旨の徹底方法、指導班の編成、具體的指導實行方法、指導班の編成、其の他必要なる事項

△開催期日其の他　臺北市八月三十一日、基隆市九月一日、七星郡八月三十一日、淡水街八月二十九日、基隆郡九月一日、宜蘭郡八月二十七日、新莊郡八月二十八日、文山郡八月二十八日、海山郡八月二十六日、新莊郡八月二十七日

南支軍空の精鋭"隼"機奮戰談（上）

呆氣なし在支米空軍

逃げるに都合のよいP四〇型

【〇〇基地にて山口特派員發】在支米國空軍基地に晝夜を分たず活躍中の我が南支空軍の精鋭"隼"の武勲振りは敵の蠢動に際して益々その威力を發揮今や在支米空軍を完膚なきまでに追込んでゐるどんより曇つた一日、空には"敵機一機たりとも"と睨む我が歴戰の[illegible]〇〇飛行場に於て記者は我精鋭なる我等の勇士高橋部隊長（東京出身）以下の武勲振りを聞いた（カットは〇〇基地に於ける座談會）

高橋部隊長　未だ徹底的では無いので十分なる[illegible]は致しかねるが先づ在支米空軍の陣容をみるに昆明が根據地となつて居る前進基地として[illegible]、[illegible]、[illegible]がある、現在の司令官はスチルウエル中將、戰鬪隊長はスコット大佐である、[illegible]の見透しは彼等が[illegible]する程でなく大體半分とみてゐる、我々は今好時であると[illegible]を一機も殘さず[illegible]と大いに張切つてゐると

こうだ、鹵獲した米國戰鬪機P四〇型の性能を調べてみたが[illegible]たしたる[illegible]はなかつた、彼等は[illegible]日米[illegible]米機に[illegible]居り今迄二ケ年を經過せねば我々の水準には達し得ないと負け惜みを云つてゐる、松村少佐は鹵獲した敵P四〇型戰鬪機を操縱した經驗があるので松村少佐に聞かう

松村少佐　三月許り乘つてみた[illegible]の綜合的な感じは[illegible]よう、重戰鬪機性能は比較的よくない、重武裝だ、先づ操縱性能であるが水平の[illegible]、上昇は大きくないが突込んだ時の[illegible]性能があると思ひます突込んで[illegible]逃げるに都合よく出來てゐる、そこで十分[illegible]をして早く逃げ[illegible]あるといふ力がない、從つて操縱性能の不自由は必然的である[illegible]又[illegible]では極めて不利だ、流石に米國人は[illegible]よく致して取扱上の色々な操作はとても[illegible]出來てゐる、[illegible]四、[illegible]二を有する、P四〇E型は[illegible]六を備へ付けてゐる、近迫して[illegible]場合に依つては[illegible]をやるといふ我々とは反對に遠くから射[illegible]してその[illegible]逃げのびるために出來た[illegible]機だ、そのために一撃の[illegible]も[illegible]來てゐる、防盾も九[illegible]の防彈板を有し、操縱席のガラスも防彈ガラスを用ひガソリンタンクも同[illegible]防彈施設を施し其他[illegible]に[illegible]な[illegible]が[illegible]と[illegible]集中して[illegible]わけだ、從つて我々は何[illegible]に集中して[illegible]やるわけだ、棒としては先程も述べた際に突込んで行つた場合に[illegible]なる操縱が不自由で思ふ[illegible]に行かず我々操縱士に斯しては[illegible]でないといふことになる、結局[illegible]士が乘せて[illegible]て飛んでゐるといつた[illegible]だ、まああの[illegible]にして向ふの操縱士[illegible]はけ敵を知るわけだね

菅原中尉　七月三十日の第一次[illegible]に於いてであるが我我は高度六千米で目的地の[illegible]飛行場[illegible]に侵入した際、前方に十二機が[illegible]な編隊で進んで來るの[illegible]な編隊なのではじめは友軍機ではないかと疑つた程であつた[illegible]が不自由だといふ敵機の癖を[illegible]して居り、又敵を多く持つてゐるので正面を避け一旦やり過して後が[illegible]て上昇する[illegible]間近迫して必中彈を浴せた[illegible]結果[illegible]なく命中して[illegible]文字通り垂直降下の[illegible]して飛行場近くの山腹に激突したのを見屆けた、併し私としては敵三機の中隊に一機を射とめ他を逸したので大した戰果ではなかつたわけだ

鈴木中尉　これは私のやつた空戰ではない、勇敢なる部下の一人である今井曹長（[illegible]出身）の空戰だが……八月五日第三次[illegible]侵入の際早くも舞ひ上つてゐた敵一機が[illegible]にも突進して來るとみせかけて急に飛行場上空に退いて行つた、これは此方も同じだが成可く基地近くで[illegible]する事は永く[illegible]する上から有利なのだ、そんな[illegible]は百も承知で今井曹長はわざと誘はれて[illegible]無二追尾して突込んで行つたところ早くも敵は低空して[illegible]を[illegible]た、併し此時[illegible]から敵が[illegible]かかつて來たので好[illegible]御座んなれと[illegible]り[illegible]る一機を捨て反轉、[illegible]の一機の後へ喰ひ下り至近して集中射撃を浴せた[illegible]結果見事に命中、敵機は火を吐き[illegible]落ちて行く、だがみてゐると[illegible]操縱士は[illegible]に片足をかけてさつと落下傘降下を企てたが何しろ四百米の低空なので遂に[illegible]は開かずそのまま墜落してしまつた、それから今井曹長は[illegible]五百の高度をとつて[illegible]の途に就かんとして前方をみると敵三機が[illegible]みせて同一方向に向つて飛んでゐる、更に背後をみれば約二千米の高度に一機がついて來る、併し[illegible]後其我に近付かないらしい"占めた"と今井曹長は先づ[illegible]後の一機を狙つて[illegible]に高度を上げて[illegible]も前方の三機に發見されない樣に[illegible]心し乍ら約五分間之を追尾して同一高度をとつて接近し十分[illegible]らぐつと二十米位近く迄突つ込んで集中彈を浴せた[illegible]、敵機は[illegible]から火を吐き乍ら左に傾きつつ機首を下げて墜落しかけたが此時もやはり敵操縱士は落下傘降下をやつた、よく見えたさうだが綺色の航空服を着て眞白いパラシユウトを身に[illegible]ていてゐたさうだ、之は成功したらしい、今井曹長は基地へ歸いてから"よくあの五分間に[illegible]へたと我乍ら感心した"と述懐してゐたが[illegible]五分間の忍耐[illegible]

小倉准尉　やはり[illegible]のは僅に數十分の長さだつたらしい[illegible]の際だが敵七機の[illegible]を受けたので一旦之を回避して二機を引離し其中の一機に至近して左側から猛射を浴せたところ[illegible]に[illegible]を付け[illegible]に命中して[illegible]は付根から飛んでしまつた

高橋部隊長　總指揮官スチルウエルは盛んに日本機を[illegible]してゐるとデマ宣傳を放つてゐるが現状は今一同が話した樣な結果である、敵は空中戰鬪中我が攻擊に向つて射つた際、當らなくとも射つただけで勝手に一機擊墜せりと決めてゐるらしい

上原中尉　敵飛行場上空に侵入して二十分間ばかり相手を探したけれども全然見當らない、そこで相手が居なければ基地攻擊をと折よく地上引込線にP四〇一機を發見したので先づ高月部隊が一際に攻擊したが却々炎上しない、これは[illegible]の[illegible]がよい所為かも判らないがそれから私は[illegible]近で盛に射つて來る高射機關砲を狙つて攻擊を開始したのである、が敵の高射機關砲は[illegible]た、攻擊を受けた敵[illegible]は右往左往して逃走する樣を[illegible]したが併しどれだけの死傷を與へたか判らない、とにかく[illegible]してしまつた

出席者

	（出身地）
（司會者）	
高橋部隊長	（東京）
松村少佐	（[illegible]）
青木少佐	（[illegible]）
代永大尉	（[illegible]）
菅原中尉	（[illegible]）
鈴木中尉	（[illegible]）
古賀中尉	（[illegible]）
柳澤中尉	（[illegible]）
上原中尉	（和歌山）
久保中尉	（[illegible]）
島中尉	（[illegible]）
石澤中尉	（[illegible]）
小倉准尉	（[illegible]）
西谷曹長	（[illegible]）

大田澎湖廳長着任

【澎湖電話】新任大田澎湖廳長は十六日午後家族同伴、軍官民の出迎へを受け着任した

▲六・〇〇少國民の時間、シンプン、南と北▲六・三〇日本水産株式會社取締役[illegible]の[illegible]（臺北）日本[illegible]▲六・五〇放送[illegible]（臺北）朗讀[illegible]、夕[illegible]臺北市建成國民學校[illegible]▲七・〇〇ニュース▲七・〇五時事解説[illegible]▲七・二〇[illegible]「新生マレーの近況」[illegible]▲七・五〇ベルリンより（[illegible]）「ドイツ通信」▲八・〇〇[illegible]（臺北）「[illegible]」▲八・三〇[illegible]力戰の時間（臺北）▲九・〇〇ニュース▲九・[illegible]ヴァイオリン獨奏[illegible]▲九・五五[illegible]今日の戰況と[illegible]ニュース（臺北）

三國志

（赤壁の巻）

（837）

吉川英治作

矢野橋村畫

破軍星（二）

別れに臨んで、孔明は、張飛に忠言した。

『蜀には英武の將が多い。麾下のごとき豪傑は幾人も居る。啣ふるに蜀山刀谷である。嶮々しく驅逐してはならない。かりそめにも掠め奪らず亂しめ、またよく部下を肆げず、行く街に民を憐れみ、老幼を勞づけ、噪、徼を以て衆に臨むがいい。至また、軍律は嚴かにするとも、私怨をなして士卒を鞭打つやうなことはくれぐれも愼まねばならぬ。そして迅速に雒城へ出で、めでたく第一の功を先ち取られよ』

張飛は拜謝して、勇躍ときへ[illegible]いた。

彼の率いた一萬騎は、漢川を風靡した。しかし、よく軍令をまもつて、少しも掠奪や、殺戮の非道をしなかつたので、行く先々の郡民は、彼の旗をのぞんでみな降參し來た。

やがて、巴郡（四川）へ迫つた。蜀の名將嚴顏は、老いたりといへど、よく强弓をひき、大刀を使ひ、また、士操凜々たるものがあつた。

張飛は城外十里へ寄せて、使を立て、

『嚴顏老匹夫。わが旗を見て、何ぞ城を出て降らざるや。もし遲きときは、城郭をふみ碎いて、滿城を血にせん』

と、云ひ送つた。

『笑止なり、放浪の[illegible]』

嚴顏は、使の耳と鼻を切つて、城外へ抓み出した。張飛が激怒したことはいふまでもない。

『みろ。けふの中にも、巴城を瓦礫と灰にしてみせるから』

まづ、先鋒をとばし、全軍[illegible]下に迫つた。

けれど、城内は、城門を閉ぢ、防戰を堅固にして、一人も出て來はなかつた。のみならず、矢窓から音を出して、さんざんに張飛を惡罵したので、張飛は、

『その舌の根を忘れるな』

と、日沒まで猛攻をつづけた。

然し、頑として城は陷ちない。無二無三、城壁へとりついて、攀ぢ登らうとした兵も、ひとり殘らず狙ひ擊ちの矢石にかかつて、空濠の埋め草となるだけだつた。

張飛は、そこに野營して、翌日も早天から攻めにかかつた。すると矢倉の上に、老將嚴顏が初めて姿をあらはして、

『先鋒、使の口上で、滿城を血にせんと云つたのは、さては、寄手の血漿を以て彩ることでありしか。いや見事々々。御苦勞々々々』

と、からかつた。

張飛の顏は朱墨を塗つたやうに燃えた。その虎鬚の中から大きく口をあいて、

『よしつ、汝を生擒つて、汝の肉を喰はずには措かんぞ』

と云つた途端である。

嚴顏の引きしぼつた强弓の弦音が朝の大氣をゆすぶつて、ぴゆつと一矢を送つて來た。

張飛が、

『呀つ』

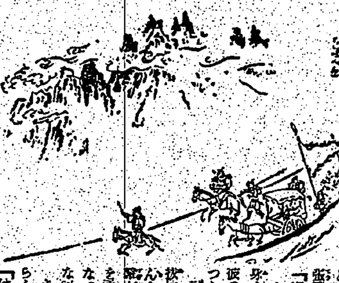
と、馬のたてがみへ身を伏せたので、矢は彼の甲の腦天に刎ね返つた。

幸ひにも、鉄兜は射拔けなかつたが、じいんと烈しい金屬的な衝擊が腦髓から鼻ばしらを通つて、眼から火となつて飛び出したやうな氣がした。

さすがの張飛も、ふらふらと眩ひを覺えて

『けふは不可ん』

と、匆々、後陣へかくれてしまつた。



『なるほど、蜀には相當な者がゐる』

張飛が敵に感心したことはめづらしい。然し敵を賞讃することに依つて、彼もただ力づくな攻城がいかに勞して效の少ないものかを敎へられた。

城の一方にかたり高い丘陵がある。ここに登つて彼は城内を覗つた。[illegible]

[illegible]

登山とハイク

廿二、三日

△竹子山登山と金山行（臺灣山岳會主催）コースは草山下車、竹子湖を經て小觀音山頂を通過、竹子山西側[illegible]小屋に一泊、翌日は早朝出發竹子山頂へそれより[illegible]湖より金山に出でバスにて淡水に廻り臺北へ、全行程二十二キロ、參加[illegible]、有志參加歡迎、集合二十二日午後[illegible]時[illegible]までに[illegible]バス發着所前へ[illegible]（白米[illegible]）二[illegible]、[illegible]は十九日迄に[illegible]山岳會事務所へ申込まれたし、會費約二圓（雨天中止）

心臟
强化体力に
抗病ホルモン
「心力」はとても[illegible]
心力本舗

爽快な液劑
ポンホリン
苦熱の汗と脂は
痛い…痒い…
水むしが蔓る！
手當を怠ると膿む、爛れるといつまでも苦痛のつづくものです。手當は早目に速く快く効くポンホリンで。
六〇セン　四〇セン
大阪・東京・台北　鹽野義商店

ロート目薬
シマズ　ズマタイ
【適應症】
結膜炎
角膜炎
トラホーム
疲勞眼
學校眼
眼瞼緣炎
麥粒腫等
[illegible]

あせも
たゞれ
きず
ハリバ軟膏
外用の……榮養藥
癒り難いものにハリバ軟膏を……化膿菌の繁殖を防いで、肉芽と表皮を新生し治癒を早める榮養軟膏です。
五〇錢　一圓

純正眼藥
スマイル
二五錢・四五錢
眼疾・視力障害に……
優れた治病力と保健作用を有する習慣性のない眼藥
治病作用は勿論、視力恢復、光線の害を防止する綜合作用を有つ純眼藥
總代理店 ⓢ 株式會社 玉置商店

臺灣日日新報
本日夕刊共六頁

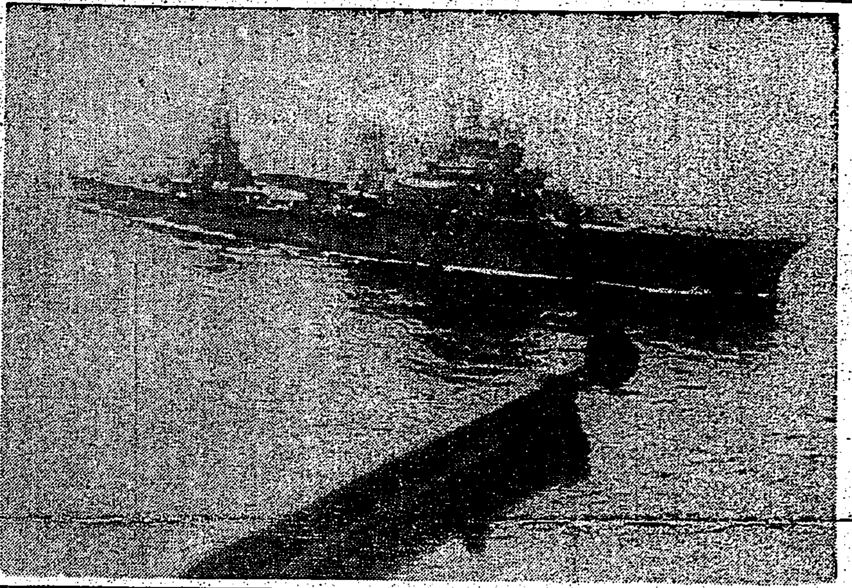
濠洲周邊海域に作戰
敵船十隻九萬噸擊沈
帝國潜水艦二旬の戰果

【東京發同盟】**大本營發表**（十七日午後三時三十分）濠洲周邊海域に作戰中の帝國潜水艦は七月下旬より八月上旬に亙り敵船十隻約九萬噸を擊沈せり

喘ぐ濠洲全く致命傷

【東京發同盟】南北太平洋に跨り綜錯不敗の堅陣を布く帝國海軍部隊は對日總反攻の呼號と共に敵米英の策謀すると見るや疾風迅雷の行動を起して北洋アリューシャンに敵艦隊を擊退、更に南半球ソロモン諸島海戰に於いては敵主力を完全捕捉、七、八、九日の三夜に亙る大激戰を以て敵艦沈破實に四十隻と言ふ世界海戰史上空前の一大戰果を擧げソロモン海戰の名を青史不滅のものたらしめたが、これと同時に敵々敵補給路の破壞に努むるわが無敵潜水艦は遠く足を伸ばしてインド洋オーストラリア大陸タスマン海、珊瑚海、アラフラ海等の濠洲周邊海域に行動し晝夜不眠の猛攻擊を續行しつゝ去る七月下旬より八月上旬に至る約二十日間に濠洲周邊に於いて敵船九隻ニューカレドニア方面に於いて一隻合計十隻九萬噸を擊沈したわが海軍航空部隊及び海上艦艇部隊の猛攻擊に依り濠洲所在の敵航空兵力は潰滅に瀕し、更に洋上の孤兒濠洲守護の任を帶びて[illegible]した米英聯合艦隊もソロモン海域に殲滅し終つた今日濠洲はわが艦隊の猛攻に依り僅か二旬にして十隻の輸送船を喪失、[illegible]既に喘ぎ喘ぐ濠洲にとりまさしく致命傷と言ふべきである、かくて敵米英が對日反抗の作戰基地と頼んだ濠洲は周邊悉くわが艦隊に[illegible]し インド—濠洲、インド—アフリカ、インド—アメリカ等の連絡路また完全に寸斷され今後濠洲が依然として米英依存の姿勢に[illegible]れ[illegible]たる帝國海軍の監視に目をはんとするならば其後に來るべき運命は火を睹るよりも明かである、開戰以來わが潜水艦に依り擊沈せられたる敵艦船は今次發表のものを加へ實に百十七隻、八十八萬四千噸の尨大なる數字に上る、北米の往來頻るが如き大西洋、北海方面海域と異なり太平洋、インド洋海域に二億四千萬方粁の渺々たる洋上に於いて左記等からざる敵輸送船を捕捉克く如上の驚異的戰果を擧げたることはわが潜水部隊の赫々たる武勳と言はねばならぬ[illegible]涯果てしない洋に日光と隔絕し晝夜の別なく空氣に不自由しつゝ勇猛果敢に富る潜水部隊の將士に對しては銃後國民擧げて感謝の赤誠を表する所である

本間中將歸還 寫眞は參內する本間中將（向つて左）



海空に活躍する海軍部隊

（海軍省許可濟第五七一號）

キューバ戰時內閣成立

【リスボン十六日發同盟】ハヴァナ（キューバ）來電によればキューバ戰時內閣は十六日成立、首相としてラモン・ザアイデインが任命された

國府の育成强化に責務の重大感ず
河邊支那派遣軍總參謀長語る

【○○十七日發同盟】今回支那派遣軍總參謀長に新補した河邊正三中將は左の如き感想を語つた

支那には昭和十一年から十四年まで居て、十二年には盧溝橋事件に際會してゐるので支那事變には最初から關係してゐる者の一人だ、大東亞戰爭の核心をなすものは支那事變の解決であることは今更言ふまでもない、國民政府の育成强化の問題を控へて多忙でもあらうし責務の重大を感ずる、只身體は[illegible]ことに頑健そのものなのでその點十分自信があり大いに張切つてゐる次第だ

交換船鎌倉丸
上海を出帆

【上海十七日發同盟】交換第二船鎌倉丸は英國及び英國屬領四百五十八名（英人三百六十九名內三名は昭南市より乘船）ベルギー人二十八名オランダ人二十二名ノールウェー人六名ポーランド人三十一名ギリシャ人二名並に一般人四百四十八名合計九百六名を乘せて十七日午後五時一路交換地ロレンソ・マルケス目ざして上海を出帆した上海からの引揚英人は百六十九[illegible]

既報司メーズ、香港上海銀行總支配人A・S・ヘンチマン、オリエンタルフ[illegible]エアーズ紙主筆G・W・ウッドヘッド、ロイター東京支局[illegible]
[illegible]・ブルームなどがある、なほ現在上海在留の英人は約八千名で この中帝國の[illegible]をなしたもの は三千二百名で その中から[illegible]十七名が引揚げることとなつた

外地の行政簡素化
四長官會議で檢討
今週中に閣議決定

【東京發同盟】行政簡素化について政府は去る十一日の閣議を以て中央地方、作業に亙る行政簡素の決定を終り殘すところ適用範圍、外地諸官廳並に獨立官廳のみとなつた、右の內朝鮮總督府、臺灣總督府、樺太廳、南洋廳、關東局等の外地各官廳の簡素化案はこの程その原案が內閣に出揃つたので政府は十七日午後一時より首相官邸に內閣四長官會議を開き外地各官廳案を檢討し[illegible]しかして政府は外地各廳の簡素化の具體的實施を期してゐるので[illegible]りの審議を行ひ今週中には閣議決定の運びとすることになつた

產報中央錬成所長
江頭佳造氏を起用

【東京發同盟】產業報國會では[illegible]

商船十萬五千噸擊沈
獨潜艦の驚異的戰果

【ベルリン十七日發同盟】獨軍司令部は十七日特別發表を以て最近各方面水域に於ける獨潜水艦の驚異的戰果を次の如く發表した

北氷洋、北米及び中米沿岸西アフリカ沿岸、大西洋の各水域で作戰中の獨潜水艦隊は强力なる護衛を施せる商船隊並びに單獨航行中の商船を攻擊計十九隻、十萬五千七百七十二噸を擊沈、更に驅逐艦一隻を擊沈せしめ他の三隻に大損害を與へた、同艦隊は直ちに猛烈なる反擊を受けたため右三隻が沈沒せるや否やは確認し得なかつた

主な顏觸れは元工部局警務[illegible]を始め元工部局保健部長G・フイリップス・M・スマイス大尉、元江海關[illegible]A

獨・長期戰に備へ
內部團結を强化

【ベルリン十六日發同盟】戰爭が長期化して來ると戰爭そのものと並んで益々重要視されて來るのは國民の內部戰線であるが、獨逸においても最近目立つてこの戰線が取り上げられる樣になつた、八月五、六日に亙りゲーリング大ドイツ元帥主宰の下に國務[illegible]會議が催され更に十五日から四日間に亙りゲッベルス宣傳相のライン地方[illegible]行がおこなはれて以來この戰線の姿勢が特に目立つて來た、[illegible]

南方華僑に聽く（上）
抗日から協力へ
佛印華僑張振帆氏語る

【サイゴン十七日發同盟】佛印華僑人口は支那事變前には約四十萬程度であつたが戰火が南支に及ぶや難を逃れて移住し來る者激增し現在では五十五萬乃至六十萬に及んでゐるといはれる、これ等の移住民は廣東省出身八十パーセント、福建省出身二〇%で主として東京地方及び交趾支那サイゴン、ショロンを中心に商業に從事する者が多い

佛印の華僑對策

佛印の華僑政策は初期においては南部地方と同樣土地の所有又は有[illegible]の必要に基いて、支那から移民を[illegible]してゐたが、[illegible]其の[illegible]すに伴ひ經濟的[illegible]おそれて次第に[illegible]を加へるやうになり、[illegible]に比して華僑には高率な人頭稅が課せられてゐるので、[illegible]なつてゐる、然し相當、[illegible]の[illegible]については比較的自由である[illegible]

華僑の街ショロン

[illegible]

精米業を獨占

[illegible]

コーカサス油田喪失
ソ聯側に重大影響與ふ

【クイビシェフ十六日發同盟】ジョルナール・デイタリア主筆ガイダ氏が「獨ソ戰の目標は油田の確保にある」と言明してゐる如く第二次世界大戰と石油問題とは不可分の關係にあるから現在のコーカサス作戰の結果はソ聯經濟部面に多大の影響を齎すことは否定し得ない、ソ聯の石油問題を正確に把握することは極めて困難であるが一九三八年度の政府發表によればマイコープ及びクラスノダールの產油量は二百二十五萬噸、グロズヌイが二十七萬六千三百噸、バクーが二千三百九十八萬噸でコーカサスの石油產出量はソ聯の石油總產出量の七十四パーセントに相當することになつてゐる、[illegible]

四つの巨大な產油地帶があつてその內最も重要なものはバシキール共和國のイシムバイ油田であると言はれてゐる、タタール共和國のチダリマから餘り遠くない所にバシキール共和國のツイマツイ石油地帶がありこれから又餘り遠くないところにクラスノカムスク及びチュソフスキ・ゴルドギーの二石油地帶がある、この二つはいづれもモロトフ地區にある、しかもこのイシムバイ、チュソフスキ・ゴルドギー等の石油はいづれも二疊紀の石灰石層から取りツイマツイ及びクラスノカムスクの鑛床は石油は石炭紀の土砂中に存しイシムバイ油田の產油井はバクー油田に近く[illegible]

ぜんそくに

頓服で効く

本舗 柴崎製藥所
全國藥店にて販賣す

ひろ喘息藥

水產兩會社愈よ設立

【東京發同盟】水產統制令に基く水產統制の機構については[illegible]

人事

[illegible]

前マドラス州首相
英の印度撤退强調

【リスボン十六日發同盟】ロンドン來電—デーリー・ヘラルド紙マドラス電によれば前マドラス州首相ラジャゴ・ペラチヤリヤは十五日[illegible]

獨軍主力クバン河全面渡河に成功

【リスボン十五日發同盟】クラスノダール附近の戰鬪は[illegible]

丸善アテナインキ
ATHENA

軍神 加藤部隊長 高田保

陸鷲 奇蹟の生還記 陸軍少尉 金丸貞三

戰記 歩くビルマ戰記 讀賣報道班員 高田一夫

ペタンの言葉（山本實彦）

東條さんの地方めぐり（繪と文）近藤日出造

職場日記 ▲生命ある日…矢倉房枝 ▲安全週間…有田正男

大東亞建設の創造的精神

★世界精神の動き…大串兎代夫

國民總力結集の方寸・鈴木貞一

時局雜誌 8月號 定價五十錢

★敵の思想謀略は如何に行はれつゝあるか（座談會）

▲宣傳戰…田口泖三郎 ▲電波戰…高田秀二

グラビア 時の戰道 北阿・西亞畫報

西の樞軸戰
獨ソ戰と北阿戰…大場彌平
コーカサス攻防戰…丸山政男
歐洲戰の教訓…西尾忠四郎
來るべきスエズ攻略戰…齋藤忠

改造社發行

現地報告
文藝春秋社發行 八月號 四十錢 送料二錢
宣傳戰は如何に戰はれたか 陸軍報道班員 北林透馬
大東亞戰と中南米の動き 中西重華
カナダの對戰動向 伊東敬
中國共產軍の現狀 大井英雄
戰爭觀照の經濟學（經濟評論）西谷彌兵衛
身近かな陷穽（政治評論）花見達二
加藤建夫隊長奮戰記
加藤建夫少將の追憶
日本一戰鬪隊長の死
防人 山本誠
南方戰線 川端龍子
北洋を壓するもの 海軍報道班員 福湯豐
「もののふの道」座談會
☆獨逸言論界の支那事變評
南滿の農村記
山上の忠魂碑 丸山義二
☆翼賛會支部は何をしてゐるか

婦人公論
母と娘の會話 平塚らいてう
☆日泰文化提携への私見…柳澤健
☆町を活かす日本紙布織…下村千秋
☆物動計畫と食糧營團…原祐三
創作 源實朝・大佛次郎 若き妻たち・窪川稻子 巴・室生犀星 巴里に死す・芹澤光治良
◎志士の母…岡不可止
◎每日の言葉…柳田國男
◎愛の心杖…松井糸子
◎歌のある話…サトウハチロー
◎このごろ思ふ 武者小路實篤
◎皇國の母性…栗原廣太
◎美しき獻身…湯淺克衛
（座談會）娘の生活と教養 谷川徹三 山地敏子 篠原うめ子 白井常 芹澤純子
●從軍詩集・大木惇夫 ●神鷲還らず・西條八十 ●（短歌）山・齋藤茂吉
九月號・五十錢・十六日發賣・重要記事滿載！

底知れぬ我が國力の增强

この新情勢に刮目すべし

一

五年の征戰を戰ひ拔いて、然も殆ど聊かの疲れもしらぬのみか、反對に底知れぬ新たな國力を培ひつつある日本の現狀は、今や改めて世界の一大脅威となり、その原因の檢討に興味が寄せられてゐる。手先の器用いことは昔から邦人の特色とされてゐるが、大東亞戰爭に入つてから殊特に樹役の素早さを示し、僅々六ケ月で大東亞に多年根を卸してゐた米英蘭の勢力を一擧に驅逐し、日本に匹倍する地域を鎭定し、[illegible]が占據してゐた南方の資源といふ資源を殆ど悉く我が手に收めるに至つた。多數の俘虜中には、將官たりし者が五人まで加はり、外に[illegible]又は司令官たるが如き最高地位の俘虜もあり、半歳の間の戰果としては史に類例を見ぬ程のものがあるのである。

二

米英側は、今になつて日本を過少に評價したことを後悔し、それが今日迄の敗戰の原因であるといふ風に考へ出してゐるが、この過少評價は、米英側としては固より當然のことであつて成る程にも成つたといふ外ない。なぜならば米英人は、世界に人間らしい人間の國は米英系統以外には無いといふ頭で、唯我獨尊に思ひ上つてゐたからである。言ひ換へると、植民帝國の牙城に據つて有りとあらゆる武力、物資力、金力を一手に抱へ込んでゐる米英側に對し、何國が果してよく歯が立つものかと自己尊大に高を括つてゐたのである。然し相手を過少に評價したといふ事に氣がつき、[illegible]仰天した時は、もう既に晩く、大勢は大きく非となり、現在米英が滿喫してゐる様な大きな惱みとなつたのである。然るに我が日本は、滿五年餘を戰ひ拔いて來たに拘らず、疲れを知らぬ[illegible]不可思議の力を以て逆に寧ろ國力を培養しつつ强さを增して來てゐるではないか。向より之には幾多の原因があり何れも重要なる用意が準備されてゐたことは言を俟たぬが要するに是等は我が國人の手際の鮮さを示すものであると同時に事變又は戰後の處理或は施策に特別なる技能を有し、至誠以て事に當り、結局モノにしてゆくからである。滿洲事變後の滿洲帝國が今日の如く王道樂土となり、事變後の蒙疆及び北支が非常なる發展さで開發の巨歩を進めてゐる如きも亦その證左と解すべきである。

三

支那事變前、米英側は、滿洲の經營だけで日本は今に行詰つて了ふだらうと竊かに快に入つてゐたところが今日の滿洲帝國は、立派に大東亞共榮圈の一環として非常[illegible]るではないか。北支の石炭や鐵鑛の外、綿や棉花などまでどの位我が國力涵養に役立つてゐるかは云ふだけ野暮である。更に中南支[illegible]、蘭印、ビルマ、比島に至るまで、今後はアジアの血につながる民族としての國力の外に[illegible]力に依て我が國力を增强させ、今[illegible]れるに足らぬ事情にあることは、現に目醒してゐる通りである。勿論それだからと云つて米英を甘く見てはならぬが、國民は歩一歩わ[illegible]てゆく此の新情勢に篤と注目し、新しい認識と希望とを以て今後の新事態に處してゆかねばならない。

第二期稻作の現況

生產目標達成へ突進

督府農務課員の植付督勵行脚報告

府農務局では八月初旬技術員を派遣、同課技師以下各技術員その他[illegible]各州に亘り第二期作稻植付の督勵行脚を行つたが、同課では此の報告を取纏め次の如く當局談を發表した

植付面積 確保狀況は[illegible]北州下の[illegible]による[illegible]約五百八甲及び臺東廳下知本[illegible]未完成による百三十一甲の植付不能があつたのみで殆ど全部に亘り豫定通りの植付面積を得たと云ひ得る、植付進捗狀況は各州概ね[illegible]ると臺北州は山手を除き完了、新竹州は竹北の一部を除き終了してゐる、臺中州は員林や[illegible]による新高、竹山、南投、北斗、各郡下の[illegible]及一期作收穫遲延のため一部植付遲延を餘儀なくされる所もあつたが、その他は概ね植付完了をみてゐる、臺南州は中間作は植付濟、二期作、秋天田地帶の一部未了であるもこれも八月二十日迄には植付終了の見込みである、高雄州は一部[illegible]不良の[illegible]を除き植付を終へてゐる、臺東廳下は水不足のため六十%了、花蓮港廳下は水田の[illegible]約五%あつたのみである

正條密植 は一昨年一期作以來二ケ年半に亘り[illegible]一體となり本格的[illegible]を行つた結果[illegible]部に八十%の普及をみた、就中新竹、臺中、臺南の各州と臺東、花蓮港兩廳下は特に徹底してゐる、片正條ならば全部百パーセントと云つてもよからう、臺北州下が普及狀況最も不良だが六十%の普及をみてゐる、[illegible]の正條密植[illegible]は[illegible]が短期間の割に非常な進步で此の點全[illegible]として[illegible]しくない、[illegible]は遺憾ながら[illegible]の[illegible]がある、然し正條密植の普及徹底により[illegible]が期し得られる

苗代狀況 はその全部を[illegible]出來なかつたが[illegible]何れも[illegible]的內容には不完全なものもあるが形の上では先づ成功である

堆肥造成 狀況は昭和十四年[illegible]甲當平均六千二百斤程度であつたものが今期は臺北州一萬五千斤、新竹州一萬斤に達してゐる、臺中州は[illegible]各農家が生產目標の申合せをし[illegible]込期間を設定するなど官民一致の眞劍な努力が拂はれてゐる、竹山郡の如きは[illegible]込期間を設定し[illegible]五萬斤を目標に[illegible]平均[illegible]萬五千斤に達してゐる、大屯郡では[illegible]の他は一萬斤程度である、臺東、花蓮港兩廳は生產目標一萬斤であるが[illegible]は平均一萬斤である、特に注目を惹いたのは臺東廳の[illegible]込期間設定で此の期間に[illegible]込を行はない者があれば他人でも自由にその[illegible]堆肥を使用し得ると云ふ申合をしてゐる點である、今後の目標を二萬斤に置いて[illegible]るがこれ位は[illegible]民の自覺により[illegible]その[illegible]たるものがあらう

害蟲捕殺 は[illegible]主催で全島的に[illegible]中で[illegible]組合などが中心に[illegible]の推進振りをみせてゐる、幸か不幸か今年は[illegible]多く[illegible]の發生を多くみなかつた、以上[illegible]すると第二期作は大體好成績でこの分でゆけば九月の颱風さへなければ二期作米の[illegible]生產目標[illegible]は[illegible]でない

家庭用骸炭の出荷

組合を結成統制 府鑛務課談發表

戰時下[illegible]の[illegible]は特殊船舶燃料或ひは南方輸出用での[illegible]向が頓に[illegible]をみたため[illegible]府では家庭用ガラの製造原料を原則として下級粉炭に限定した、然るに該炭の生產面は石炭會社をしてその指導に當らしめてゐるが配給面は依然製造業者の自由に委ねられてきた結果、品質、價格の無統制から[illegible]くないので今般右の如き家庭用骸炭出荷統制要綱を制定、九月上旬出荷組合の設立を俟つて十月一日より家庭用骸炭の配給圓滑化に萬全を期することとなつた、これに關し主管課府鑛務課では次の當局談を發表した

鑛務課當局談 本島における家庭用骸炭（ガラ）は從來石炭の生產業者其の他が主として塊炭を以て所謂[illegible]に依り之が製造に當つて來たのであるが塊炭は能ふ限り重要用途に向ける必要があり殊に大東亞戰爭に伴ひ特殊船舶燃料として又南方向[illegible]として[illegible]してゐるので家庭用骸炭は原則として下級粉炭を以て製造する方針に依り臺灣石炭株式會社をして石炭の生產業者に其の原料炭を配給せしめると共に製造方法の指導に當らしめ來つたのである、然るに之が製品の配給に付ては製造業者個々の販賣に放任してある結果品質價格等が無統制であり又價格の調整が困難であるのみならず木炭薪炭其の他燃料以外の家庭用燃料との調和を圖ることも殆んど不可能であるので次の如く家庭用骸炭出荷統制要綱を決定し來る九月上旬[illegible]

骸炭出荷統制要綱

[illegible]出荷を統制して家庭用骸炭配給の[illegible]を期することとなつた次第である

一、家庭用骸炭（ガラ）は石炭の生產業者及臺灣石炭株式會社より原料炭の割當を受け之が製造に當るものとす但し必要ありと認むるときは[illegible]此の限に在らず

二、家庭用骸炭の製造は二級以下の粉炭に依るものとし止むを得ざる場合に限り一級粉炭を使用することを得るものとす

三、臺灣石炭株式會社は家庭用骸炭の需給狀況に即應し之が原料炭の適正配給をなすものとす

四、家庭用骸炭の製造業者は全島を一丸とする家庭用骸炭出荷組合を組織するものとす

五、家庭用骸炭出荷組合の組合員の製造したる骸炭は總て組合に於て販賣先、價格其の他に付臺灣總督府殖產局長の承認を得て之が出荷に當るものとす

六、家庭用骸炭出荷組合は石炭配給統制規則第三條の規定に依る四半期每に家庭用骸炭配給計畫を決定し臺灣石炭株式會社に提出するものとす

七、瓦斯製造又は骸炭製造の副產物として發出する骸炭は家庭用に供せらるるものと雖も當分の內本統制要綱より除外するものとす

儲備券中南支圈へ

服部貞雄

一億圓借款

[illegible]國民政府は昨年六月[illegible]政府に對し三億圓の借款を供與し、現に[illegible]中であるが、今回更にこれと別個に、中央儲備銀行の發券準備の[illegible]を[illegible]するため[illegible]國民政府の[illegible]の下に去る七月二十八日午後四時[illegible]中の中央儲備銀行[illegible]氏と日本銀行[illegible]氏との間に一億圓の[illegible]に關する正式調印を完了、これにより[illegible]儲備券の[illegible]を行ひつつある[illegible]銀行の[illegible]を一層[illegible]ならしめると同時に[illegible]を中心とする大東亞金融新體制は更にその巨步を進めた

◇

中央儲備銀行は昨年一月開業以來國民政府金融工作の[illegible]たる中央銀行としての[illegible]な發展を遂げ[illegible]儲備券は[illegible]を採られたに拘はらず、[illegible]法幣（重慶側の紙幣）を[illegible]しつつ[illegible]を擴大、大東亞戰爭勃發の直前一億六千萬元の[illegible]に過ぎなかつたものが、今や十三億元を突破し、[illegible]券の九億四千萬元なると對比して[illegible]支那經濟の中心[illegible]とするだけに[illegible]の[illegible]なるものがある。

[illegible]の三十分が[illegible]の[illegible]元に[illegible]比[illegible]からすれば、[illegible]に及ばずと雖もここ[illegible]の[illegible]としては正に[illegible]な[illegible]である、此の[illegible]の過程に於て[illegible]法幣の[illegible]の[illegible]けられた、即ち中支に始まり、[illegible]びて南支に及んでゐる、先づ中支に於ては去る三月三十一日それまで[illegible]法幣と[illegible]であつたものを切離し、[illegible]法幣が[illegible]するを[illegible]にして一路[illegible]を擴大し、六月一日には二[illegible]一の比率を以て新舊法幣の[illegible]交換を[illegible]する法令を公布した

◇

[illegible]法幣一元は[illegible]一元に[illegible]いふ交換比率に依つて[illegible]法幣の回收に乘り出し、その期間を六月八日より始め、上海及び南京の[illegible]市では六月二十四日を以て全面交換を打ち切り翌二十五日より[illegible]法幣の使用を禁止、次いで蘇州、常熟、太倉、崑山、無錫、常州、江陰の七都市を含む太湖東南部の[illegible]地區では七月十四日限り全面交換を切上げて翌十五日より[illegible]法幣の使用を禁止した、斯うした全面交換も使用禁止も總て[illegible]の完全なる[illegible]下に行はれたもので あつて、それ等諸地區には殆ど[illegible]法幣が殘つてゐないといふ程度まで回收、[illegible]して後始めて禁止を實行された所で[illegible]法幣の[illegible]を實力に依つて占[illegible]するに至つたものである。更に支那に於ける[illegible]中ただ一つの[illegible]された[illegible]地域たる武漢三鎭でも八月十日より二週間を限り全面交換を行ひ次で[illegible]法幣の使用を[illegible]禁止することになつた

◇

中支地區で儲備券一色への通貨工作が大成功を收めると共に、南支に向つて歩が進められた、即ち廣東、汕頭、[illegible]市を含む廣東省及び[illegible]省の[illegible]市に於ては七月十日より二十三日に至る二週間を限り新舊法幣の全面交換を行ひ、[illegible]間終了後その使用を禁止する豫定の下に南支[illegible]一工作が進められたのである。同時に從來南支に[illegible]を[illegible]めてゐた香港弗なる[illegible]銀行の[illegible]の[illegible]に[illegible]しても[illegible]された、香港では[illegible]の七月二十四日附告示で香港弗の[illegible]交換比率を二對一から四對一即ち[illegible]一圓に對し香港弗[illegible]の割に切下げ、此の地の[illegible]一色への[illegible]に巨步を前進することになりまた同日附の南支[illegible]指揮官の告示を以て廣東、汕頭[illegible]地區內の[illegible]香港弗に[illegible]し八月一日よりの[illegible]が禁止され、儲備券の南支[illegible]の[illegible]が[illegible]せられたのである、儲備券は斯くて江蘇、浙江、安徽三省及び江蘇省の南京、上海特別市をその[illegible]に收めると共に廣東及び汕頭[illegible]市を含む廣東省[illegible]の[illegible]市をもその勢力下に[illegible]したのである

◇

儲備券の勢力が中南支に[illegible]するに至つた時[illegible]の[illegible]が決定され、[illegible]中南支の基本[illegible]たる[illegible]は[illegible]の[illegible]を與へられ、またそれに依つて[illegible]を[illegible]とする大東亞金融[illegible]の[illegible]も[illegible]となつたのである

マニラの瓦斯事業

軍の依託で臺灣瓦斯が經營

臺灣瓦斯會社では昨年末南方[illegible]の任命により大東亞戰爭勃發早[illegible]皇軍の占領下に新生した香港九龍及びマニラ市に[illegible]瓦斯事業を[illegible]技術[illegible]を派遣、[illegible]瓦斯施設の[illegible]復舊に努力、[illegible]間に各地瓦斯施設を復舊せしめ[illegible]の治安工作に貢獻し引續き現在ではこれら瓦斯事業[illegible]の衝に當つてゐたが八月五日附で[illegible]の公式命令によりマニラ市に於ける瓦斯事業の經營を依託された、この ため同社では事業經營の萬全を期するためマニラ市に支社を[illegible]することに決定、これが機構、人事に就て目下成案を急いでをり、支社[illegible]のため近く[illegible]支配人[illegible]或は[illegible]技師長の何れかが渡比することとなつた

地方資金利率引下

六月中の低資貸付殘高

本年六月末の[illegible]に於ける預金部低利資金貸付殘高は一千九百一萬[illegible]千圓で前月に比し百四萬四千圓を增加した、之は十六年度普通地方資金（二百萬圓）の貸出に依るもので、前年同月に比し一萬三千圓の增加である、新規貸出がなければ[illegible]約二百萬圓の[illegible]減少となる、十七年度[illegible]普通地方資金は一百五十萬圓の融通決定を見近く[illegible]金融課に於て融通先並に貸付額を査定、大藏省預金部と合議の上決定する、十七年度低資融通から原案の普通地方公共團體に對する直接貸付（州、廳、市、街、庄の引受に依る融資）の貸付利率引下（年四分四厘から年四分二厘に改正）は特に刮目すべきである

現金部低資貸付調（單位千圓）

資金別	融通決定額	貸付高	償還高	貸付殘高
普通地方資金	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
高利債償換資金	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
時局匡救土木事業資金	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
嘉南大圳組合貸付資金	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
[illegible]資金	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
臺灣震災復興資金	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
米穀應急資金	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
臨時應急資金	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
合計	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
前月比較	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
前年同月比較	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

【備考】郵便貯金本年六月末七三[illegible]、九八九千圓、前月末七二[illegible]、前年同月末五六[illegible]、七六九千圓

馬の增殖へ

新竹州が獎勵

【新竹電話】新竹州では馬の增殖[illegible]

臺灣關係行政法

施行規則の成案を急ぐ

去る八月十一日の閣議で附議決定した行政簡素化法令施行令中改正の件（國民勞務組合法、產業設備營團法、國民徵用法、國民勞務手帳法の施行）は愈々八月十五日附勅令第六百二十五號を以て公布、右四法律は既に內地に於て實施されてゐるが本島に於ても[illegible]施行せんとするものである右各法の施行規則は各主務局に於て鋭意成案を急ぎ近く府令を以て公布實施する、聖戰完遂、大東亞共榮圈確立に際會する本島南進基地の負荷する重大使命に一段の重要性が加重された譯である

大東亞共同組合

年次大會へ代表出席

大東亞共同組合[illegible]の協同組合理想實現の[illegible]盟主日本を主體として大[illegible]東亞共榮圈內各國協同組合を綜合一體に[illegible]ますます大東亞新秩序の建設に寄與する大東亞協同組合[illegible]は十四年五月東京に於て[illegible]第一回東亞協同組合[illegible]により發足したが十六年五月[illegible]使命完遂に[illegible]する機關として[illegible]共榮圈內協同組合を加盟せしめ[illegible]每年一回年次大會を開催することとなつてをり、[illegible]に貢獻して來たが年次大會は既に東京、朝鮮に於て開催され十七年秋は滿洲に於て開催されるので臺灣からは[illegible]代表として出席する筈、尙十八年度の東亞[illegible]同組合[illegible]年次大會は來年秋頃に臺灣に於て開催される豫定である

海上輸送懇談會

廿日鐵道ホテルで開く

船舶運營會臺北支部では二十日正午鐵道ホテルに[illegible]、交通、[illegible]各會社代表を招待、[illegible]上輸送[illegible]に關し懇談する

事業計畫協議

[illegible]

[illegible]に設立をみた臺北市[illegible]公會では十九日午後二時より鐵道ホテルに於て初理事會を開催、左の三件を附議する

一、昭和十七年度事業計畫

一、昭和十七年度收支豫算

一、部會の編成、部會長並に[illegible]

評議員の委任

臺中州米穀[illegible]【臺中電話】臺中州米穀[illegible]組合では十九日午後一時から[illegible]會議室において總代會を開催、昭和十六年度決算並に剩餘金處分の件を附議するがこれに先立ち午前十時から[illegible]

內臺間船腹調整

佐々波遞信部長近く上京

[illegible]に於ける戰時[illegible]管理令の運營に[illegible]內臺間船腹調整に關し中央當局と折衝のため佐々波遞信部長、[illegible]課長は一ケ月の日程で近く上京する

驛長人事異動

鐵道部では十七日附左の如く驛長人事異動を發令した

[illegible]

短波光養魚誘蛾燈

"うみつか"集火に好成績

【東京本社特電】[illegible]水產試驗[illegible]技師[illegible]一郎氏は今回短波光[illegible]魚誘蛾燈による「うみつか」の[illegible]を試驗し次の如き優秀なる結果を得て「うみつか」が好個の[illegible]となるにとどまらず[illegible]的、能率的な[illegible]をも解決し得ることを確め得た、即ち同氏の試驗は[illegible]で行はれ、施行の方法としては「うみつか」の活動を[illegible]する[illegible]より[illegible]火を高く點火し「うみつか」の大量集火を[illegible]した、大體「うみつか」は[illegible]四月中旬[illegible]五月下旬と九月上旬[illegible]九月下旬に[illegible]つて發生するものであつて、集火は日沒後約三時間より始まり、發生の初及び終期には二三時間なるも盛期には午前一時頃まで集火する、[illegible]

[illegible]が好成績である

荷造規格制定へ

貨物、小荷物の試驗輸送

[illegible]

臺灣住宅債券發行

三回に亙り千五百萬圓

[illegible]

九月一日	六百萬圓
十二月一日	六百萬圓
三月一日	三百萬圓

臺灣調査聯盟（假稱）

軍官民を一丸に結成せん

[illegible]

阿里山野菜

近く市場へ搬出

【嘉義電話】[illegible]

臺灣銀行總會

臺灣銀行では來る九月一日午前十時より[illegible]東京支店に於て第八十六回定時株主總會を開催左記の事項を附議する

一、昭和十七年上半季[illegible]及[illegible]の件

一、昭和十七年上半季利益金分配の件

一、定款變更の件 [illegible]

一、[illegible]

一、前[illegible]

南日本汽船

南日本汽船では二十六日午前十一時同社[illegible]に於て第[illegible]回定時株主總會を開催、十七年一月以降七月までの利益金處分案を附議するが[illegible]

主要債券利廻

日本勸銀の調査

日本勸業銀行調査に係る十七年七月中の主要債券及株式利廻りは左の如くである

主要債券利廻調（單位分▲印減）

	七月中	前月比	前年同月比
國債	[illegible]	[illegible]	[illegible]
地方債	[illegible]	[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
社債	[illegible]	[illegible]	[illegible]
平均	[illegible]	[illegible]	[illegible]

主要株式利廻

	七月中	前月比	前年同月比
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
相	[illegible]	[illegible]	[illegible]

商況（十七日）

株式 市場は一入展開難

兜町前場況

【東京發同盟】[illegible]

兜町後場況

【東京發同盟】[illegible]

東京短期後場

[illegible]

東京短期日步

[illegible]

東京長期後場

[illegible]

東京短期取組喰合

[illegible]

東京長期總取組

[illegible]

東京銀行實株

[illegible]

東京國債前場

[illegible]

大阪長期前場

[illegible]

大阪短期後場

[illegible]

大阪短期日步

[illegible]

《北濱展望》

【大阪發同盟】[illegible]

橫濱生絲前場

[illegible]

橫濱生絲後場

[illegible]

鑛物學提要 [illegible]

實用測量學

坑內運搬と捲揚

初級材料力學

[illegible]著

東京市[illegible] 叢文閣

配當平均利回 指數 [illegible]

玄關用 イラトイン

天下一品 一家一瓶

銃後完璧！お互に感謝し合ひお互に親切に……

東京 [illegible]

エストル効果を發揮する
合成女性ホルモン

★女子生理の不調
月經過多 月經過少 結婚前後の諸疾患

★更年期の諸障碍
頭痛、眼暈 四肢冷感 疲勞倦怠

★乳汁分泌不足に

卵胞ホルモン作用强力にして而かも緩和持續的なる新エストル型特殊合成劑！

武田新發賣

オイベスチン錠

一錠中〇・五瓦含有 [illegible] 一〇〇錠 [illegible] 三〇〇錠

病後の衰弱・貧血に奥へる肝臓・膽汁療法

結核諸症 貧血諸症 腺病質虛弱 胃腸疾患

各種消耗性疾患を始め病後の衰弱等に肝臓製劑を奥へる際胃腸障害の恐れを懸念される。ネオ肝精は膽汁の協力により新る懸念を一掃し肝臓成分の消化良好更に胃腸を强化し食慾增進、營養充實の効あり肝臓療法の一大進步と稱さる

補血强壯 肝臓製劑

ネオ肝精

特許 製劑 鹿肝臓 牛膽汁 配合

[illegible]

販賣元 [illegible]株式會社 藤澤友吉商店 製造元 [illegible] 北海水產工業研究所

發熱を伴ふ夏期小兒病に御注意！

抵抗力の弱い小兒はすぐに胃腸を損じたり、暑中から機能障碍を起し、疫痢、腦炎、肺炎等へと惡化し易く、夜半等突然に發熱してお母さん方を驚かせます。

救急治病 保健の育兒良藥で先づ病狀の惡化を防ぎ、抵抗力を養ひ、特に腦、心臓、消化器能を强化し、榮養の消化吸收を高め、發育を促す事が大切です

主効 カンムシ、夜啼き 消化不良、乳吐き 胃腸下痢、諸熱病 ヒキツケ、キゼツ 食慾不振、腺病兒

小兒良藥

樋屋奇應丸

大阪天滿橋 本家 樋屋合資會社

"父"に會ふ喜びに寢就かれぬ遺兒達

けふ・護國神社晴れの參拜

けふぞ晴れの「遺兒の日」――父を南國の護りに捧げた遺兒達が今は靖國に、またここ臺灣の社に鎮まるお父さんと晴れて相見える十八日が遂に來た

全島から選ばれた四十名の遺兒代表は臺北市四名（臺北本町、多田セイ子追加）新竹二名、地元臺北市の十四名を除く高雄一名、臺南十二名、臺中四名、臺東二名、花蓮港一名等の各地區遺兒部隊は各州、廳軍人援護會係員に引率されて夕刻迄に夫々臺北へ集合、大和町朝日館に投宿した、本部の小父さんたちが遺兒の上に萬一のことがあつてはと付き切りで世話にあたつてゐる、だが遺兒たちの中にはかつて［illegible］靖國神社へ參拜に行つたものが［illegible］久し振りの再會に話題は尽きず、［illegible］

東京へ行つたときはまだ國民學校の兒童であつたが今は立派な中學生、女學生となつてゐた、お互ひに〝かはりましたね〟と挨拶を交すのも微笑ましく〝お父さん、僕はこんなに元氣です〟〝お父さまあたしもこんなに大きくなりました……〟と護國の神なる父にこんなに大きくなつたと奉告出來るのをほこらしげに語る遺兒たちであつた、そして明春は靖國神社へ參拜に行かれる同じ境遇の友を兄妹の如くいたはるのも流石に軍國の子だ、しかし大事な參拜を前にして外出もせずに宿舍で日記をしたためたり、家で待つお母さんへの便りを書いたり……寢床に入つたものの「いよいよあすはお父さんに會へる」と思へば小さな胸がときめくのも道理、うれしくて〳〵寢つかれぬその前夜であつた（寫眞は〝再會〟前夜の喜びにあふれる遺兒達）

"中學校入學の奉告"

大塚健吾君　再會の感激を胸に語る

臺灣神社頭祭典の日の前夜十七日の臺北は折柄の防空訓練で灯一つ見せぬほど警戒が徹底してゐた朝日館に訪へば大塚健吾君（臺南一中一年生）は念願叶つた喜びに感激しつつ父と會へる嬉しさを語る

一昨年の春靖國神社に行きましてお父さんと對面しました、今度の對面は實に二年振りで軍人援護會のこの計ひに感謝してゐます、僕はお父さんに會つて先づ一番始めにお父さんのお蔭で中學へ入學したことを奉告します

なほ九段の祭典のときはまだ國民學校兒童であつたが大塚健吾君と同じく中學校に或は女學校に進學したものは（臺北市を除く）臺南市の［illegible］上野［illegible］、［illegible］の三君および［illegible］、大塚和子さんの六名であつた、これらは上級學校に進學したことを神なる父へのよきお土産とするであらう

再度訪れたこの歡び

荒井［illegible］子さん　健氣に語る

遺兒の一人荒井［illegible］子さん（［illegible］國民學校）は語る

私は今年の春九段でお父さまと對面しました、四ケ月でまた靖國の社頭でまたお父さまと會ふことが出來るなんて全く夢見たいです、これも軍人援護會臺灣本部のお蔭でどうしてお禮を申してよいかわかりません、お父さまに會つたら先づお母さまや妹が達者でくらしてゐることを奉告します、そしてお父さまのいさほしをけがさない立派な日本の女性となることを誓ふつもりです

皇奉新竹市支會に新に六委員會設置

【新竹電話】皇奉新竹市支會では今後の積極的活動に資する爲從來一年に一回乃至二回しか會合せをしてゐなかつた參與、委員會を［illegible］

銃後敢闘譜　2

大日本婦人會軍人援護課長　和田和作

闘ふ軍國の未亡人

織手よく營む"勳洋裁店"

大東亞戰爭下の現代、戰死者の未亡人が皆この心がけで立つてくれれば大丈夫です、日婦では本年度事業の重點を特に軍人援護に置き軍事保護院と緊密の連絡をとりつつ指導並に保護事業を決定し、各市町村銃後奉公會、軍人援護婦人指導員と緊密な連絡の下に軍人援護の諸事業――前線へ慰問袋を送るやきぬこと、遺家族慰問、傷痍軍人の配偶者の斡旋などに力をつくすことになつてゐます、遺族には補助金が交付されますが、依頼心を起さず、自力でやりぬいてゆくことが本人にとつて何よりも大切なことで、日婦では下部組織の充實に伴ひこのやうな奉仕行爲をも行ふ方針です

× × ×

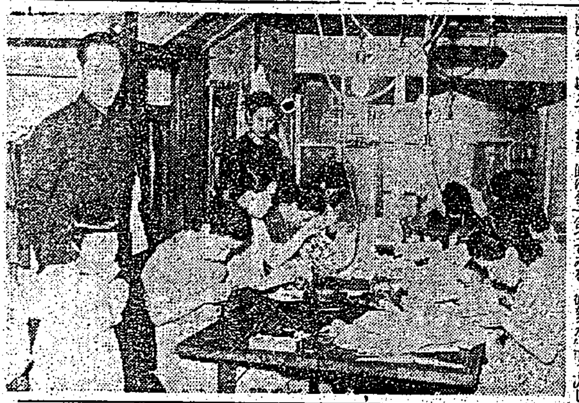
市電や郊外電車が一ケ所に集つて混雑を極める大阪市阿部野橋、そこから約二、三丁南に行つたところに小ぢんまりと清楚な洋裁店がある、色とりどりの婦人服、子供服が所狭く吊るされた店内では十數人の若い婦人達が或はミシンを踏み、或は鋏をひびかせながら立働いてゐる

護國の華と散つた勇士の未亡人たちが亡夫の勳けがさしと雄々しくも更生に力を併せて經營してゐる「勳」洋裁店がこれである、彼女等の顏には悲しみの色も淋しさのかげも少しも見られない、指先にも眞摯な精神の強さが籠められ凛々しいまでに張切つて明るい、この「勳」洋裁店は昭和十四年九月タイト洋裁女學校長佐藤久三氏が戰歿勇士の未亡人を奉仕的に毎月講習で教授、洋裁を教へたのが奇縁となつて卒業後一人一人で開業するよりも皆で協力して洋裁店を開いてはといふことになり、この企てを聞いた近隣のものは我も我もと温かい援助の手を差しのべ店舗は同町の中島［illegible］氏がかねて病院にする爲へから借りてゐたのを無料で貸り、さらに同地の蒲團家荒岡宗助氏がその

改造に千圓を投げ出したりして、銃後の同情はこの「勳」洋裁店を美しく盛り飾いた、その結果各人が百五十圓づつ醵金して細やかしい店舗を張ることが出來た、かうして軍國の未亡人たちの從業心意ひがはじまつた、世の同情に甘へてはとお互に心を引緊め一丸になつて店をもりたてていつた、その甲斐があつて店は順調に發展し、昨年十一月には高島屋の好意で售賣部に一室を與へられ、お客の註文をとることも出來るやうになり恵まれた二年の月日を經て、現在ではこの「勳」に働く未亡人は十八名を數へてゐる、中でも［illegible］未亡人熊子さん（［illegible］）同井田庄太郎未亡人君枝さん（［illegible］）同野［illegible］上等兵未亡人サミさん（［illegible］）達はそれぞれ四人もの子を抱へ、女手一つで健気しい働きをしてゐる、朝

子供と一緒に店に來て、愛兒を幼稚園に送り屆け、歸りには先生が子供を送つて來てくれるので仕事がすむまで店で遊ばせておき夕方また子供と一緒に歸る、同じ仕事同じ思ひに結ばれた未亡人たちは、いつか生活の苦しも、環境の違ひも乗り越えて、お互に助け合ひつつ大きな一家族のやうに睦み合つてゐる、彼女らの仕事は決して豪華なお嬢さん仕事ではない、主として古いものの更生利用に力を注ぎ廢品利用を旨としてゐる、店先に並べられた真新しい婦人服や子供服も取をかへすと何かの古袋をつくりなほして手際よく縫へてあるのには驚かされるほどだ、かうして彼女らの清い汗の收入はその純益の一割を店の共金に積立て、殘りを公平に分けるのだが、大抵一人宛り六、七十圓の

月收になるといふ、彼女たちは毎日の仕事につく朝八時必ず佛壇の前に端坐して大陸の曠野に笑顏を浮べた夫君の靈に祈りを捧げるのを日課としてゐる、それは同時に世の荒波から自分達を守つてくれる温かい世の中への感謝の合掌でもある、戰ふ未亡人とこれを盛り育てる近隣の愛、これも麗はしい一齣であらう【寫眞は甲斐々々しく仕事に勵む未亡人達、向つて左手前に立てるは佐藤久三氏、後に立てるは松田ちえさん】



識見と實力の把握

國民精神文化講習會開かる

總督府主催本年度第一回國民精神文化講習會は臺北帝國大學文政學部に於て十七日午前九時莊嚴なる開會式を擧行した、開會式には總督府より西村文教局長、［illegible］大學より安藤帝國大學總長、［illegible］各部局長が臨席した、［illegible］

受講者は打揃つて臺灣神社に參拜した、なほ同講習會は第一期として八月二十四日迄、第二期として十月廿一日から十月二十七日迄各六十五日間開くことになつて居り、國民學校及び［illegible］教員をして日本精神の眞髓を體得せしめ現下の時局と本島の特殊事情に認識する所を深からしめ以て地方における教學刷新の推進力たらしめるのが趣旨である、講習は講習開始日から六十日間は臺大文政學部本館で行はれるが講習終了前五日間は大直國民精神研修所で錬成をかねて行ふこととなつてゐる、なほ西村文教局長は開會式で大要左記の訓示をのべた

最に帝國當局の諸要に痛へて國民教育の劃期的刷新を斷行し文本島に於ても之に即應し［illegible］教育令の改正を行ひ內臺共學しく皇國の道に則つて國民の基礎的錬成を爲すこととなつたが更に明年度よりは義務教育制度の實現を見る運びに至つて居ることは旣に承知のことである、教育が國本に培ひ國運伸展の原動力たる所以は改めて申すまでもない處であり政治經濟國防等凡ゆる國家活動を支へる［illegible］の發達一として教育の效に俟たざるはないのであるが、特に當面せる國際情勢の大變に處し父祖傳承の臣道精神顯現の歷史的使命に積ひをいたすとき國民教育の責務の重大なること未だ曾つて今日の如きはないと申され［illegible］ばならぬ、今こそ教育の使命を［illegible］に體して［illegible］

晩餐會

原田長官招き

［illegible］

報國獻納機命名式

［illegible］

米穀増産は肥料から

新竹州・近く肥料講習會開催

【新竹電話】新竹州では米穀增產確保の達成とも言ふべき肥料增産確保に力を入れ、堆肥製造、綠肥栽培等の普及獎勵に努めて居り近く州民あげての增產強調週間を設定し［illegible］すこととなつたが、之が實施に先立ち來る三十一日から九月四日まで五日間、［illegible］で農會主催の肥料講習會を開催し［illegible］第一線に立つ指導者に增産の意義、技術等を指導するとになつてゐる、受講者は州下各市郡から［illegible］

慌てぬ不時空襲警報

臺北市及び隣接郡の第二種訓練開幕

島都市民の防空陣完璧

梁井統監一行燈火管制視察

防空訓練を期す臺北州本年度第一次防空訓練は、臺北市並に近郊各地區の訓練はけふか、あすかと州民を擧げて待機してゐたが、突如十七日午後〇時訓練警戒警報が統監部より發令された、黒れなづむ灯の宵も〇時ともなればもうすつかり夜の幕がおろされたが、臺北市民並に近郊各郡民はかねて待ちあはせてゐた事とて聊もあわてず逸早く燈火管制の設備を施し〝敵機ござんなれ〟と緊張するうち〇〇分一先づ訓練空襲警報が解除となつた、しかし何時また不意の敵機襲來がある［illegible］ので市民は［illegible］警戒にあたつた

一〇〇頃訓練警戒警報と［illegible］臺北市並に近郊は黒一色と化した、この不意の［illegible］によつて［illegible］へ［illegible］警報を許示した、かくて敵火の訓練空襲警報が發令されたのち〇時［illegible］

臺北州［illegible］空訓練は十七日午後〇時を以て［illegible］

乙種醫師學說試驗

十月五日臺北臺南兩市で

［illegible］では十月五日より同月八日迄に亘り乙種醫師學說試驗を臺北［illegible］及臺南市公會堂に於て施行することとなつたので受驗希望者は十八日附官報登載の上［illegible］

熱帶醫學會初例會

熱帶醫學會では二十二日午後一時半から臺大醫學部第九教室（［illegible］）で第一回例會を開く研究發表左の通り

（一）プラスモヒンの一新誘導體合成法に就て　［illegible］

（二）［illegible］

（三）［illegible］マラリア原蟲に就て

（四）［illegible］

（五）デング熱の病原と媒介者に就て

指導者講習會開催

高雄市で自給肥料增産強化週間に先立ち

【高雄電話】高雄州高雄市支會では九月十五日より州下一齊に施行される自給肥料增産強化週間を一層有效ならしめる爲強化週間に先立ちまづ指導者にこれが趣旨の徹底および實施方法についての指導を行ふこととなり九月一日午前十時より（會場未定）指導者の參集を求めて指導者講習會を開催する

婚禮、葬儀の基準

勵行を積極的指導

【新竹電話】皇奉新竹市支會では中央本部より指示された婚禮および葬儀の基準を實行に移すことにつき十七日午後二時半から生活部打合會を開き協議の結果支會に相談所を設け區長、奉公班世話役、保正、甲長の方を通しての婚禮、葬儀に際しては積極的に指導せしめることに決定した

南方派遣の

軍屬（給仕）を高雄州皇奉で募集

【高雄電話】皇民奉公會高雄州支部では軍の要請により南方派遣軍屬（給仕）を左記要項に依り募集することとなつた、州下居住者は二十日迄に當支部宛願書を提出し二十二日午前九時より高雄市旭國民學校に於て選考試驗を行ふ

一、資格　國民學校卒業以上の學歷者にして身體强健志操堅固なる者及び年齡滿十五歲より二十歲前後迄の本島少年（高砂族を含む）

一、待遇及役務　給料日給一圓乃至一圓五十錢（外に臨時手當あり）被服、食糧、住居及旅費出征手當を給す

三、募集人員　二〇〇名

四、志願者は自筆の履歷書、身元證明書、兩親又は保護者の承諾書を添へ提出せられたし

防衛消防組で　臺北消防組では［illegible］

防衛地方 罹災者救濟義捐金（三）

八月十四、十五、十六、十七日本社受付（敬稱略）

金五百圓　中壢、日本拓殖株式會社

金二百圓　故三谷シゲ香奠返し、亦理人［illegible］

金二百六十圓　臺北南門［illegible］

金二百圓　林［illegible］

金二百圓　基隆、［illegible］

金百圓　同社職員一同

金百七圓五十錢　［illegible］

金百圓　杉原産業株式會社

金百圓　［illegible］

金百圓　臺北［illegible］株式會社

金百圓　［illegible］工業株式會社

金百五十一圓　［illegible］

金百圓　［illegible］

金百圓　森［illegible］

金三百九十九圓八十六錢　榮町第九保公班

金三百五圓　［illegible］

金二百四十三圓二十八錢　榮町第七保公班

金二百七圓　榮町第六保公班

金百六十七圓　榮町第［illegible］

金百十三圓五十錢　［illegible］

金九十九圓八錢　榮町第三保公班

金五十一圓　榮町第十五保公班

［illegible］

累計　金十萬九千四百十七圓三十三錢

今日の映畫

國際館
1. 知られざる人々
2. 空の第二陣
3. 日本ニュース
4. 地中海

大世界館
1. 世界大戰前夜
2. 日本ニュース
3. 乘合馬車（文化映畫）
4. 嵐の姉妹

國際館
1. かぐや姫
2. 日本ニュース
3. 名將とその樂園
4. 系圖

芳乃館
1. かぐや姫
2. 日本ニュース
3. 系圖

新世界館
1. 日本ニュース
2. エンタツ・アチャコのあきれた連中
3. 武藏坊辨慶

消費面にも大東亞色

拂拭される米英製品

昭南市の巷

【昭南市十四日同盟】シンガポールに居住してゐた英國人は濠洲の麥で作つたパンに濠洲のバタをつけ、アメリカの罐詰で食事をした、頭から足の先まで英米品で固めてゐたのだ、英人以外の他人種も多かれ少なかれ輸入品に依存しなければ生活出來なかつた、特に英米的な空氣に感染したモダン好みの連中は靴や帽子から、香水、歯みがきに至るまで英米品を使用し女は赤ん坊を育てるのに濠洲の罐詰ミルクを用ひるといふ有樣だつた、人口の七割を占める華僑の食ふ米も殆ど輸入品だし、各人種を通して最も重要な食品である小麥粉は印度や濠洲から運ばれてゐた、ところが大東亞戰爭以來この輸入がパツタリ杜絶えてしまつたのだから、昭南市民にとつては非常に深刻な問題である、そこで占領後我が當局ではまづ食糧の確保とその公正な配給に努力した、幸ひ昭南には戰前から英側が貯藏してゐた莫大な米その他食糧のストツクがあり、華僑の食料手持も多かつたので當局はこれを巧に操り、占領直後の混亂時にも別に食糧難は起らずに濟んだ、［illegible］、ジヤバ、スマトラ、［illegible］から米、砂糖、野菜などが入つてきた

また、マレー半島の米西海岸地方に水田をつくる遠大な計畫も實行期に入らうとしてゐる、昭南銀座ともいふべきハイストリートの店頭には英米品の殘りがまだ澤山ある、然しこれ等むしろ前英國人を主な顧客としたもので昭南市民にとつてはむしろ無縁の存在である、昭南市場には乾魚、野菜類、［illegible］が相變らず出廻つてゐる、特に目立つのは果物でバナナ、パインアップル、マンゴスチン、マンゴーをはじめ色とりどりの果物、特に最近は榮えるドリアンの出盛り期で市內いたるところドリアン特有の臭ひ香りが立ちこめてをり、大きなドリアンが一個十五錢、マンゴスチンは三錢、バナナは十錢も買へば食ひきれぬ、魚は鮮度を問はずはかり賣で一斤五十五錢、乾魚が一斤二十錢、目の下三尺の鯛の乾魚が一圓、これでも戰爭前の二倍以上に上つてゐるのだと言ひしのマレー人のおかみさんが肩をすくめる、化されてゐる、映畫館や劇場も賑つてゐて現地人間に［illegible］好きな現地人を喜ばせてゐる、蘭貢は不足で、その映畫を半め合ひ直して廉く賣する露店もある【寫眞は昭南市の街頭物賣風景】

大東亞の表情（4）

古豪の返咲き顯著

臺北春競馬に大穴續出

臺北競馬第四日目は十五日、五日目は十六日北投出場にて施行され殊に五日目は賞金三千五百圓の［illegible］レースに入氣を呼んで第日の入場者約七千に達した、賣上高は四日目十六萬二千九十四圓、五日目二十五萬二千五百六十四圓、前三日に比すれば異常な激增振りである、五日目のレースは馬場良好のため新記錄續出、［illegible］五百米に一分五十二秒八、古豪十八日に二分七秒、［illegible］二千八百の新記錄續出、［illegible］レースも二千四百、二分四十秒と記錄更新をみた、前五日間を通じ古豪の返り咲きが顯著なものあり、連日大穴の續出はこの非常を象徵するものとして注目される

臺北工業野球團

早くも練習開始

【大阪電話】來る二十二日から甲子園球場で擧行される本年度文部省並に臺灣體協主催の全國中等學校體育大會野球試合に出場のため［illegible］郎主將以下十五名は臺北工業野球團岡本監督引率下十五日［illegible］みやこ旅館に入り早くも練習を開始してゐるが岡本監督は語る

菊池主將以下全選手は至極元氣で大會の始まるのを今や遲しと待ち構へ十六日甲陽中學の運動場を借りて初練習をしたが本校の甲子園球場では練習が許されないので折角早くから現地に出て來ましたのに殘念です、固より強豪の大會ではあり勝敗よりも鍛錬に主點が置かれてゐるが、營々やつて來た以上敢て全力を盡して戰ふ心構へで居ります

思ひは福運

國債債券・貯蓄債券其他各種債券をお持ちの方で大は壹萬圓より小は貳圓迄、身に當籤してゐる方々が全國に少なからずみる方々が御座います。茲に弊社は當籤の有無を無料にて無料にて御調査申上げる事に致しました。一通より何百通でも郵送料を要せず、債券の種別、組別、番號を明記して御申越の方には早速發行以來の御調査の上通知致します。

大阪市南區西櫓町廿三番地　富士屋債券株式會社

［illegible］

◇六・〇〇　全國ラジオ體操の會（［illegible］）

◇六・二〇　大東亞［illegible］

◇七・五〇　國民（東京）

◇八・〇〇　［illegible］

◇九・〇〇　戰時家庭の時間（臺北）

◇九・三〇　戰時家庭の常識（臺北）

◇一〇・〇〇　幼兒の時間（東京）

◇一〇・三〇　國語普及講座（臺中）

◇一一・〇〇　［illegible］

◇一二・〇〇　［illegible］

◇一二・三〇　［illegible］

◇一二・五九　時報（東京）

◇一・〇〇　吹奏樂（東京）

◇三・〇〇　朗讀（東京）

◇四・〇〇　馬來語講座（二十一）

◇六・〇〇　少國民の時間（東京）

◇六・二〇　青年の時間（臺北）

◇六・五〇　放送ニュース

◇七・〇〇　放送ニュース

◇七・二〇　國民合唱（東京）

◇七・五九　時報（東京）

◇八・〇〇　浪曲（東京）大江山

◇九・〇〇　浪花節（東京）

寓媒

齒科技工師を求む　臺北市榮町［illegible］

社員　臺北［illegible］大阪商船［illegible］

看板　高雄市［illegible］

給仕　臺北市［illegible］

女事務員　［illegible］

タイピスト　［illegible］

女中　［illegible］

女中　［illegible］

女給　［illegible］

看護婦　［illegible］

看護婦　［illegible］

見習　本町二ノ一［illegible］

看護婦又は見習　臺北本町［illegible］

女子　［illegible］

産婆　臺北［illegible］

結婚　大和町三［illegible］

尋犬　［illegible］

貸家　［illegible］

カメラ　臺北京町二［illegible］

メガネ　臺北榮町二ノ一〇［illegible］

ラジオ　明石町二ノ一［illegible］

ラジオ　本町三［illegible］

京染　［illegible］

轉宅　［illegible］

梅肉エキス　［illegible］

刀劍　本町一［illegible］

クツション　臺北［illegible］

印度　［illegible］

比律賓　臺北［illegible］

冷藏庫　臺北兒玉町［illegible］

電話　［illegible］

航空　［illegible］

ラジオ　［illegible］

ミシン　臺北市北門町［illegible］

求事務員　［illegible］新竹市榮町［illegible］日本通運新竹支店

解散公告

［illegible］

同榮興業株式會社

［illegible］

黃水樹　吳人隧

長男望儀豫而臺大附屬醫院ニテ療養中ノ處藥石效無ク十七日午前五時死去致候ニ付本十八日午後四時大正町四條聖公會ニ於テ告別式相營候間此段謹告仕候

昭和十七年八月十八日　臺北市昭和町大學官舍

父　岡野留次郎

代　笹谷政次郎

友人代表　安藤正道

今村完作

新屋平次

親戚代表　田端幸三郎

昭和町區代表

和歌山縣人會代表

會葬御禮

夫　木原文平

男　和雄

［illegible］德次

父義治儀鄉里ニ於テ病氣療養中ノ處藥石效ナク本月十四日死去致候間生前ノ厚誼ヲ謝シ各位ヘ謹告仕候

昭和十七年八月十七日　臺北市［illegible］町一ノ二三

男　清水利男

株式名義書換停止公告

［illegible］

臺灣畜產株式會社

臺北市表町二ノ一〇　電話二八八六番

臺灣肛門病院

［入院治療］　院長 田村［illegible］

臺北市本町一丁目三番地

內科　小兒科

樋詰醫院

［入院治療］　電話二五四七番

臺北市大稻埕町

內科　小兒科　レントゲン

淺井病院

［入院治療］　電話二四〇二番

齒科

小林齒科醫院

京町（［illegible］）　電話二八八二・九四三三番

小林［illegible］夫

齒科

澁谷齒科醫院

臺北市新起町一ノ二二　電話二八八九番

安い掛金で我が家が建つ!!

家の月掛は

常盤住宅會社へ

案內書贈呈

臺北市千歲町二ノ一二　電話［illegible］

支店　臺南　高雄　花蓮港

勇猛陸戰隊を讃ふ

上海戰に偲ぶ海軍魂

全世界を震撼の十日間

【東京本社特電】太平洋の濤は逆の如く荒れ狂ひ、敵の銃砲火は益々熾烈を加へてくる、必死になつてわが上陸を阻止せんとする盲目射ちである

「大丈夫か」「頑張れ」と勵まし合ふ言葉も口の中で噛み殺され顔を地にひしぼつてただ黒い塊となつて闇の地面を匍つての進撃の死闘である。闇の中にうかがはれる勇士の目は血ばしり顔には鬼面の相が出てゐた、ウエーキ島攻略の陸戰隊はかうして敵の十字砲火の中を一語も交さず、一發も射たず、枚を銜んで一寸、五分と敵陣地へ踏み寄つたのであつた、この恐るべき逞しい攻撃精神こそ海軍魂であり、即ち陸戰隊魂なのだ、世界に勇名を轟かせた陸戰隊は今次大東亞戰爭ではウエーキ、グアム、香港をはじめその他敵據點各地の敵前上陸に、または「空の神兵」として我國最初の落下傘部隊はセレベス島メナドなどに活躍したのだ、この精鋭陸戰隊の勇名はなんといつても上海以來我々の胸に深く深く刻み込まれてゐる

大激戰を偲ぶ　やつたな、うぬ義兵奴が、さあこい、日本海軍はこの陸戰隊が喰ふ……と陸戰の腕をさすりつつ待ち構へた精鋭陸戰隊の勇士は本部からの攻撃命令を待つてゐた、支那事變が勃發した年の八月十三日、上海から同盟至急報は――

午前九時十五分北四川路、横濱橋附近、アイシス劇場附近において、我が將兵は附近民家に潜む便衣隊の狙撃をうけ、目下これと交戰中

と上海の緊急電報を打電してきたそしてこの電報は直ちに都下の各新聞紙の號外となつて街を飛び、我々の緊張をかり立てた、續いての至急報は……午後四時閘北の敵は西八字橋方面より山砲迫撃砲で我が陸戰隊本部方面に砲撃を開始わが軍も直ちに應戰配備についた目下戰鬪刻々として租界北部方面に擴がつてゐる……と海軍陸戰隊の快報を報じてゐる、この日海軍省ではただならぬ緊張の朝、伏見軍令部總長宮殿下を初め奉り、米内海相、山本次官、豊田軍令部次長、近藤軍令部第一部長宮[illegible]をとげ、また海相官邸では海軍の長老たる軍事參議官大角、末次、[illegible]藤田の四大將等が參集し重大會議を行つた、一方陸上では陸戰部隊を主とする上海の敵に對する作戰を協議した、かくの如き緊張のうちに遂に大川内陸戰隊司令官は「直ちに戰鬪部署につけ」と各部隊に對して敢然として命令を下したのだ、かくて上海特別陸戰隊の血の雨をふらすやうな死闘が展開されたのであつた

陸戰隊の編成　海軍の主要任務は勿論海上の守りであつて海を我家とし海洋をわが庭として平時の國防はもとより、戰時の敵艦隊擊滅に當るもので、然し海軍といへども陸上の戰鬪に參加しなければならない場合が屢々ある、主戰作戰に於いて海軍部隊がその先陣を承り、陸軍部隊の上陸地點を占領し、陸軍部隊の上陸を容易ならしめる場合や上海の如き現地部隊に陸戰の必要が直ちに來る場合には陸戰隊を組織して陸軍部隊の到着まで敵と交戰を交へなければならないのである、そこで、艦艇の乘組員に應じて艦内には常に陸戰隊が編成されてゐる、これを「艦船何々陸戰隊」といひ、また各鎮守府から派遣される場合には「何々特別陸戰隊」といひ、各艦隊合によつて編成された場合には「何々聯合陸戰隊」と呼ばれてゐる、この陸戰隊は常に陸上戰鬪に於いて臣に至誠を盡へた者で特に膽力、對敵力に富み、旺盛不屈の精神力をもつ陸戰に最適なる者に依つて編成されてゐる選ばれた兵員は陸戰の技術の修練と日夜血の出るやうな猛訓練を重ねてゐる、特にその攻撃精神たるや正に旺盛なるものがあり、肉を斬らせて骨を斷るといふ信念を徹するまでは倒れてもやまぬといふ偉大なるものである、英米等には海兵隊と稱して海軍と陸軍の兵隊の中間的な組織をもつものがあり、これはやや専門的な兵隊である

輝く不滅の大戰果

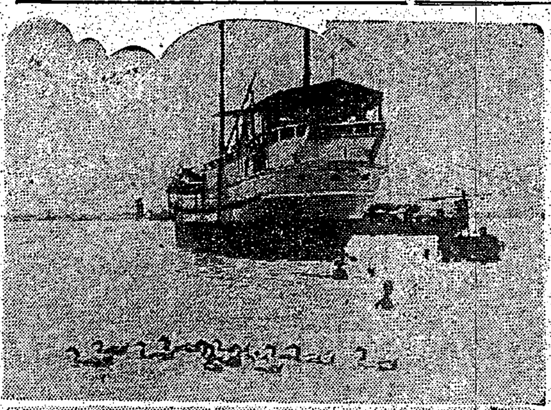
我が陸戰隊の歴史を繙く

日清戰爭後、支那に於ける帝國の權益は次第に擴大し在留邦人の數も年々增加の一途を辿り、經濟的關係においても對支貿易は益々盛況に赴き、密接な關係をもつに至つても支那國內では常に内亂が勃發し我が權益は脅威され在留邦人の生命財産は屢々危險にさらされてゐたところで昭和二年に支那動亂が勃發し蒋介石の北伐軍と山東軍が上海で衝突した、その折わが國では居留民保護のために陸戰隊を上陸させ山東軍一千の武裝解除を行ひ短期間でその動亂を鎮壓させたのであつた、然しその後支那に於ける排日は益々擴大されこの保護に陸戰隊を常駐して警らせることになつたのである、これが今日の上海特別陸戰隊である、この上海特別陸戰隊は戰車、裝甲自動車、裝甲車、野砲、山砲、步兵砲等近代兵器を持ち精鋭訓練をそのまま陸戰に活用、陸軍部隊と何等異るところがないのである、殊にその精神力に於いてはいづれも一騎當千の强者揃ひである

陸戰隊の歴史　わが陸戰隊の歴史は、明治八年の江華島事件に始まる、それは明治八年九月時の軍艦雲揚は航路測量の目的で朝鮮海を航行し、牛莊に赴く途中飲料水を求めんと月尾島と永宗島との間に投錨、翌日二十日には艦長井上良馨は自らボートに乘つて江華海峡東南端の草芝鎭砲臺の下を通らんとした時突如として同砲臺より砲撃を受けたのであつた、そこで艦長は一先づ本艦に歸り、翌日には草芝鎭砲臺を砲撃しこれを沈默せしめた、更に翌日二十二日には陸戰隊員二十餘名を上陸せしめて砲臺を破壞し永宗城を占領したのであつた、實にこの戰鬪が陸戰隊史の第一頁を飾るものである、その後も明治には壬午の變に陸戰隊が上陸してゐる

日清戰爭の頃　日清戰爭に際しては威海衛、旅順、澎湖島等に前後十數回勇戰してゐる、明治二十七年東學黨の亂に端を發し朝鮮の風雲急を告げたとき[illegible]八重山は聯合陸戰隊四百餘名を編成して六月九日仁川に上陸し直ちに先だつて翌日京城に入城、我陸軍の到着を待つたのであつた、また陸軍大部隊を金州半島の花園口に上陸することになり十月二十四日の朝かけて、約五十名の千代田陸戰隊は花園口に上陸し陸軍部隊の上陸を掩護したのであつた、またその年の十一月には大和外四艦より編成された三百餘名の聯合陸戰隊は二十一日に遼東半島に上陸して四日間に亙つて旅順大連間の鐵道を[illegible]金州城その他を奪還せんとする敵の陰謀を絶滅した、更に二十八年一月二十日には六十餘名の八重山陸戰隊は艦砲からの援護射撃によつて榮城山に上陸、山東高角砲臺を占領して敵狀を偵察し威海衛占領の先陣に勇名を轟かせたのであつた、更に澎湖島攻略に當つては[illegible]より陸戰隊を組織して三月二十三日に裏正角に上陸、拱北砲臺を占領し[illegible]上陸して陸軍部隊の[illegible]に[illegible]した、ついで北清事變に際し佐世保特別陸戰隊二ヶ中隊は[illegible]せしめまた若干名から編成された聯合陸戰隊は[illegible]佐の指揮によつて各國軍隊と共に大沽砲臺を攻撃し各國軍隊の先頭に立つて突撃、遂にこの砲臺を占領した、この戰鬪に於いて[illegible]中佐は壯烈の戰死を遂げたがわが特別陸戰隊の勇名は各國軍隊の間に喧傳の的となつたのであつた

日露戰、陸戰隊　日露戰爭に際しては明治三十七年五月三日、[illegible]大尉を指揮官とする第二[illegible]は[illegible]に分乘して閉塞の決死隊を出發した、その上陸を掩護する任務を帶びた海軍では水兵のうちで[illegible]なる若干名を選拔しこれに陸戰に必要なる訓練を夜を日について猛烈に仕込んだのであつた、そしてこの勇士を四ヶ大隊十六ヶ小隊に編成、全員は日本刀を揚げて上陸地點に突込み附近敵陣地を占領して陸軍部隊の上陸を掩護した、また大連に上陸して旅順を背面から攻撃したことは有名な話である、この時は七百五十餘名をもつて陸戰重砲隊を組織し重砲を揚陸して旅順港内の敵艦隊を砲撃したのであるがこれは陸戰隊の特筆すべき戰功である、ついで大正三年日獨開戰に際し[illegible]みれるや先づ[illegible]附近の[illegible]を占領、ついで[illegible]山に陸戰隊が上陸し更に陸軍の[illegible]千餘名も決死の覺悟でこれに[illegible]したのであつた、また[illegible]内南洋諸島のドイツ領土占領の命令をうけた第一、第二南遣支隊は聯合陸戰隊を編成してトラック、サイパン、ヤルート、パラオ等の各島々を次々に占領した、その他シベリヤ出兵、ウラジオ居留民保護等陸戰隊の歴史はわが海軍の輝かしき歴史上に一段と輝きを添へるものである、かくの如く陸戰隊は常に敵の先陣を征きたために[illegible]勇敢な活躍は鬼神を泣かしめるものがあり一人々々の勇士は攻撃精神の溢れた猛者揃ひである（大本營許可濟）……寫眞（上）は吳淞クリーク＝吳淞クリークといへば加納部隊の激戰地として餘りにも有名であるが今はそれを偲ばうとするがもない無心の住民や子供達は[illegible]を一杯に浴びながら洗濯や水遊びに餘念もない長閑さである（下）は虹江路＝虹江地帶の戰鬪通り虹江路は陸戰隊の死闘によつて確保されたもので街中に殘るトーチカに陸戰隊の勇戰を偲び感謝の念を起さざるものはない



敵のデマ完全制壓

情報局選、對敵放送標語

米英を恃んで亡びぬ國はなし

【東京電話】「起て、印度、今だ」の印度向け其他對敵海外放送標語の追加がこの程決定し情報局から發表された大東亞戰爭は武力戰であると同時に思想戰、宣傳戰でもありこの種の武器は電波に依る對敵海外放送であつて現在對英米、重慶、印度、濠洲等に向け放送を實施し赫々たる皇軍の戰果を敵國に浸透せしめると共に敵國のデマを完全に粉碎することに努力が拂はれてゐる、去る六月十日の週報で情報局から當時海外放送に使用中の標語を發表し廣く全國の週報讀者から標語をどしどし情報局に寄せて來てその數千三百餘の多數に上つた、情報局ではこれ等標語について檢討を重ねた結果左記の通り選定し從來使用中の標語に追加して今後對敵放送に利用することとなつた、これ等標語はその大部分が極めて適切な言葉に溢れてゐるので敵國の戰意を挫く有效な彈丸となり敵國に發射されるのである

印度向け　一、起て、印度、今だ　一、印度よ、團結だ、立て　一、イギリスの頸枷に抗せよ　一、印度よ、米英の誘惑に勝て　一、印度よ、自由は目の前まで來てゐるぞ　一、印度の敵は亞細亞の害ひ　一、佛陀の聖地は英國の物にあらず　一、最後の自由は空手形

重慶向け　一、重慶を捨てて大亞細亞は前進する　一、重慶よ援蔣物資はもう來ない　一、重慶よ山奥から出て見よ世界地圖は變つた　一、國父の遺志大亞細亞主義に還れ　一、英米と共に滅亡する途を選ぶな

濠洲向け　一、米英を恃んで亡びざる國なし　一、濠洲の抗戰は濠洲の滅亡　一、濠洲は英國の犠牲になるな

米國向け　一、アメリカもイギリスの犠となるのか　一、正しいニュースの聞けない米國民　一、敗戰の責任を追及せよ、その[illegible]はアメリカ人の勝利なれば　一、米國は[illegible]　一、米國の爲めの戰爭か、ルーズベルトの爲の戰爭か　一、自由の國民よルーズベルトに自由を奪はれるな　一、アメリカ何を好んでイギリスの犬になる　一、アメリカの敵は亞細亞に非ず

共通　一、正しい目で見よ正しい日本　一、約束を守る日本、約束を破つて恥ない米英　一、戰勝で肥る日本、敗戰で痩る米英　一、亞細亞に米英の兵がない、あるのはお前達の捕虜ばかり　一、亞細亞に干渉するからだ

職員に訓示

大田澎湖廳長着任

【馬公發】大田澎湖廳長は十七日午前九時初登廳し登廳式で職員に對し左の如く訓示を爲した

澎湖島の持つ使命達成のため諸君の熱心なる協力によつて大いに奮闘する覺悟である、諸君に希望する所は〃和〃で行く事である、次は役所の仕事は縱の連絡がよく行つて居るが横の連絡がよく行つて居ない點が多いからこの點を十分注意したい、又一般民衆に對しては何處迄も親切である事、更に部下としては上司より良き進言獻策を以て上司に仕へる事でこの點を特に希望して置く

貯蓄債券消化へ

高雄州下市郡割當決定

【高雄電話】高雄州の第四回戰時貯蓄債券割當額は總額二十四萬七千五百圓と決定、州では次の通り各市郡に割當て全管民の協力を要望してゐる

高雄市	九四、一一〇
屏東市	二七、一四五
岡山郡	二七、二二五
鳳山郡	二七、二二五
旗山郡	一四、八五〇
屏東郡	二二、一〇〇
潮州郡	一八、五五〇
東港郡	二二、一四五
恒春郡	四、九五〇
計	二四七、五〇〇

演劇の意義と時代性

（一）……臺灣演劇協會　松井桃樓氏（寄）

本島演劇指導のためこの程中央より來臺、目下臺灣演劇協會に籍を置いて臺灣に於ける國民演劇の向上發展にひたむきな情熱を傾け逞ぐましい努力をつづけてゐる劇作家松井桃樓氏に〃演劇とは何か?〃〃何故演劇の向上が重大な時代性を持つて來たか?〃を中心に演劇に對する同氏の意見を聽いて見た――

此處に一輪の薔薇がある、之を見て**美しい**と感じ得ない人間は藝術家ではない、然し美しいと感じる事だけで眞の藝術家になれたとは言へない、その美しいと感じた瞬間の喜びを自分一人のものとせず總ての人と相倶に頒ち合はずには居られないと言ふ際に初めて藝術が芽生へて來るのである、バラの花の美しさを繪で現はせば美術になり、音で現はせば音樂となり、文字で現はせば文學である、然し人生には〃美しい〃など言ふ簡單な言葉などでは表現し切れない複雑な問題が澤山にある、例へば「宇宙絶對の眞理」と言ふ問題を深く**究めて**行つた結果、或る藝術家が其を體得したとする、只藝術家が體得しただけで獨り滿足してゐるのならば、その人は所謂「聖者」かも知れないが、それは自由主義の我利我利亡者である、その自己が體得したことを、己一人のものとせず普く全人類に傳へないではゐられない氣持ちが湧き起つて來るところに人間としての本當の尊さがあるのである、しかも全人類の人に一人のこらず少しでも分りやすい方法で洩れなく傳へたいと心から願ふ時、自然その表現形式は**劇的に**ならざるを得ないのである、故に換言すれば演劇とは人類に各自が最も忠誠を盡すべき最高目標を示す道しるべである、演劇人とは「人間は何をすることが人類最上の目標に叶ふか、何をすれば本當に忠良なる國民となれるかと言ふことを深く深く突つめて研究しその體得し得た眞理を最も理解し易い方法に依つて廣く一般大衆に傳へるべき使命を持つてゐるのである」我々がこれ迄の永い人類の歴史を振り返つて見ると、この世の中には「人類を或る高い**理想に**向つて押し上げて行かうと努力した人々」と「そんなことにはお構ひなしに只、自分の利欲ばかりに汲々として求めてゐた人々」の二つの系統に大別することが出來る、斯く見て來ると、人生とは迷信家、無智人、偏見者、嘘つき、偽善者、利己主義の我利我利亡者、その他あらゆる社會惡と、之に抗して宇宙の眞理を發見し社會の狀態を改善し淨化せんとする人々との間に永遠に續く一大戰鬪であることがわかる、では我々はいづれの**陣營に**味方すればいいのか?言ふまでもなく我々が日本人である以上、我々の人生最高目標とは天皇陛下を宇宙絶對の眞理と信じ奉り天皇陛下に總てを捧げ奉ることである、そして演劇とは、「人間が人類最高の目標到達のために邁進する瞬間の喜びを、己一人の獨占とせず全人類に最も判りやすく理解させんと努力する一手段である、演劇人とはわからない人には判らせないでもいいといふ樣な所謂藝術至上主義の塔に立て籠つてゐるのでなく飽くまで積極的に**大衆に**働きかけないではゐられないアクテイヴな性格の持主でなければならない、世の中にはいくら話して聞かせても判らない人間がゐる、第一そんな人間にはいくら話を聞かせるから集まれと言つたところで話を聞きにくる筈がない、そこでなるべく大衆が面白がつて集まるやうな催し物をしてひき寄せておいてさてその上であらゆる藝術を應用して宇宙絶對の眞理を直感的に理解させようとする所から演劇は發するのである

然るに殘念ながら今日までの**演劇は**必ずしも理想通りの方向に進んでゐるとは言へない、嘗て共産主義が[illegible]思想界を風靡した時代、演劇は完全に左翼化され、所謂[illegible]演劇の[illegible]と化した事がある、しかもそれらの演劇は〃大衆〃とか〃娯樂〃とかの美名に隱れて官能本位な享樂的な方面へ人間を墮落させようとしつつあるのである、我々はかかる惡傾向に對して敢然と戰はねばならぬ、その場合第一に問題となるのは戲曲の内容である、即ち「その戲曲を通じて何を言はんとするか」と云ふことが**一番の**眼目となるのである言ひ換ると戲曲には必らずテーマがある、故にいやしくも俳優たるものはまづその戲曲のテーマは何かと言ふことをよく理解して、しかる後にそのテーマを自分の身體で身を以て具體的に表現すると共に一般の見物に理解させるのが本來の使命である、戲曲のテーマがはつきりして居なければ出來ないやうなことでは戲曲とは言へない、しかも日常の極つまらない事件を取扱つた戲曲にもその背後には社會問題、經濟問題、政治問題は勿論のこと心理學藝術天文學、哲學とかいふが如きあらゆる**科學を**動員しても解決出來ぬ樣な深遠な原因がひそんでゐるのである、故に俳優がその戲曲のテーマを正しく理解するには日頃から社會學、經濟學、政治學、心理學、哲學乃至あらゆる自然科學を研究してゐなければならないのである、綜藝日常生活のレベルが文化的に低い態度には絶對に文化的な香りの高い演劇を演ずる力はないのである、今日の藝術の貧困の本の原因が甚しく文化的にレベルが低調であるといふのも第一には劇作家の教養が低いからではあるがそればかりではなく、觀客する態度そのものの教養がこれ又甚だしく低いからでもある

（つづく）

赤誠の獻金

軍司令部（十七日受）

國防獻金　五〇圓臺北市表町德物商原田市郎香典返しに代へ、二〇圓中壢郡楊梅庄楊梅劉松海、五〇圓同觀音庄坡寮子黄湖黄金火外二名、五〇圓大甲郡淸水街旺口字社口黄澄坤、三二圓同龍井庄丁厝代表黄飛鳳、三圓四一錢能高郡埔里國民學校學童供田六班、大園海山郡板橋庄板橋同成海、八圓同同金福神、一〇〇圓大溪郡龍潭庄國民學校、一二〇圓新莊郡三重庄九芎湖字牛埔頭渡庄平、五圓竹南郡南庄北埔里與伊藤守彌、計三四四圓四一錢

恤兵金　五〇〇圓臺北市幸町八田與美忌明に付、五〇圓臺北市東門町南出あさ香典返しに代へ、一〇圓臺北市大稻埕町張昭一、三圓二錢臺北市古亭町田代勘人外三名、五圓新竹市二十張犁字泉州方郭阿二〇圓竹東部芎林庄赤柯坪寮阿生一〇〇圓新竹市榮町陶器宛物商組合、三圓新竹市東門町奥田玉、計六九一圓二錢、合計一、〇三五圓四三錢

獻品　茶袋二百臺北市大和町吉田ヨシ、慰問文子ヤイ外六名、同リヤカ一臺臺北市東園國民學校

海軍武官府（十七日受）

國防獻金　臺北深江八十八百圓、新營郡同合[illegible]三十圓、同同合診療所員一同五圓、臺北吉田政榮十六圓六十四錢

恤兵獻金　臺北下[illegible]町二區二第公田一同十一圓、臺北佐十院宮[illegible]五百圓、海山郡江陳協五十圓、新營郡林[illegible]男二十八圓、臺中州北斗郡民[illegible]一同七圓八十

愛の赤道（157）

竹田敏彦　作

[illegible]竹伸一　畫

兄と妹（四）

「さあ、お前もしつかりするんだぞ――」

間もなく、大邸宅の大門をくぐつて、黒光りのする玄關の前へ進むと、健吉は、ちらと、千鶴子を顧みて、

「御免なさい――」

大聲に格子を開け放つた。その凛しい聲音には、敵地に斬込む決死の人のやうな悲壯なものが、千鶴子にも感ぜられた。

兄は、こんなに一顧等を擲つてゐるが、家の實相を知つたら、何と言ふだらう――

千鶴子は、この上、また兄を悲しませる心の切なさに堪へられなかつた。その時――

「誰方でせうか」

見慣れない女中が取次ぎに出てきた。

「先程、電話した新家の健吉だと云つてください」

「暫らくお待ちくださいまし」

女中は奥へ引込んだきり、暫らく戻つてこなかつたが、やつと暫らくして姿を見せると、

「生憎、主人は留守でございますが」

「留守だ……留守はわかつてゐるしかし、この家族は、兄さん一人ぢやない筈だ。さう言つてくれ俺は重大な用件で、わざわざ名古屋から來たんだとね。いいか、伯父さんでも、伯母さんでもよい。よくわかるやうにさういつてくれわかつたね」

奥まで、聞かせようとして高聲を發る健吉の語は、激しいほど高揚に高潮してゐた。

その時だつた。奥の襖が開いて顔を出したのはお靜だつた。

「何です。健吉さん……」

ぐつと突つた眼で、健吉を見下した。

「何も、朝からそんな大聲を出して、わめき散らさなくたつていいでせう。あんた、ここは本家ですよ。ちつとは禮儀を考へたら何うなんです」

お靜の顔も昂奮に蒼ざめて、

「家にも他人はゐるんですしね。少しは、外聞も考へてください」

「外分？……」

「さうぢやありませんか……千鶴ちやんも一緒なら大抵は、用件の向もわかつてゐるぢやありませんか。千鶴ちやんにしても、あんまり手數になる話ぢやないでせう」

「何ですつて……」

「ほつほ、何かそんなに眼が立ちますの。ね、さうでせう、千鶴ちやん」

お靜は皮肉に笑つてみせたが、その唇ひきつれない女の昂奮で、はぴくぴく痙攣してゐた。そして

「まあ、逃げも隱れもしませんから、さあ、上つていらつしやい」

健吉も握つた拳をぶるぶる顫はせてゐたが、

「上りますとも、さあ、千鶴子もおいで」

どうなることかと、はらはらしながら見てゐる千鶴子を促して、健吉は、靴をぬいで、玄關へ上つた。お靜は、先に立つて、

「ごめんください……」

「こちらに待つてゐてください」

玄關用の玄關につづく日本室の六疊に案内すると、急に白々しく

「お母さんもお留守ありませんか」

にやりと意味を含めて言つた。

「はア、既に……」

健吉は、ちよつと肱すかしを喰はされた氣味で、もぐもぐ答へると、お靜はすぐさま、

「ほんとに、私も困つてゐるんですよ。千鶴ちやんも千鶴ちやん、あんただけは、そんなことをする人だと思はなかつたわ」

老獪な反撃を、千鶴子に加へてきた。

八日、新莊郡[illegible]五十圓、臺北市[illegible]五十錢、同[illegible]八圓、同[illegible]五十圓、同水[illegible]三十錢
弔慰金　[illegible]生能一同五十八圓五十錢

飛ぶ様にすぐ賣れる！
小資本で出來る新商賣
代理店募集●副業に好適
定價四圓五十錢
發賣元　オルター商會
東京市荒川區日暮里町九丁目一〇七〇

男女　毛深い方へ　うれしいニュース
ひげ・胸毛・うで毛・すね毛―其他
ヨクキク除毛劑
説明進呈　東京市牛込區[illegible]町一〇〇　進文館藥品部

外交時報　八月中旬號
事變收拾一構想外二項…[illegible]
エヂプト戰勢望見…米田實
ソ聯危機と第二戰線…中山良雄
佛の對獨對米態度…[illegible]
大東亞民族政策動向…[illegible]
世界新秩序と原理…石井文雄
英の植民地官吏養成…三宅太郎
印度民族運動の進路…[illegible]
フイリッピンの經濟性…[illegible]
濠洲聯邦の今後…伊東敬
民族通貨と儲備券…[illegible]
大東亞戰詳史（第十六）…[illegible]
國際外交半月日誌…本社調査局
外交時報社

中野高等無線電信學校　校長　沖貞男
東京市中野區江古田

ゴム工業各種機械　製作販賣

東京寫眞學校

日本高等鐵道學校　東京市杉並區方南町

當籤債券廣告　日本勸業銀行
割増金附貯蓄債券・報國債券・勸業債券・復興貯蓄債券　當籤番號
[illegible]

慢性胃腸病に　アルス胃腸藥

わきが　無代進呈　日本醫藥研究所

治せ肺病　肋膜炎も同じ療法で
「藥を買ふか、買はぬ」は別として、どうしたら肺病が治るか　有田ドラッグへお尋ね下さい
肺病まろく　でお困りの方は　有田ドラッグへ御相談下さい

ビクラ　積極的強壯劑
過勞倦怠　全身に潑溂たる活力を與へる

結核予防に　ハリバ

夏に弱いは胃腸が因
自然に力強い胃腸をつくる仁丹の御連用
食物の味が出てムダなく榮養化し、体力となり暑さに打ち克つ旺盛な健康を招く…
炎熱の戰地で今一番活用される慰問品藥
疲勞に　めまひに　暑さあたりに
仁丹

腸疾患に
醫學博士　山本順市閣下推奬
主效　赤痢・疫痢・腸カタル・急性下痢　慢性下痢・食傷（治療と豫防）
強力殺菌整腸　セダン
製造元　東京淺草[illegible]
特約店　台北市盛田商店・台南市三輪[illegible]

SH―3120
腦溢血
狭心症・心臓麻痺と　これに前驅する頭痛症狀
眩暈・顏面潮紅・肩凝感
……血管部に著明に作用して過高血壓を溫和に生理的自然位迄降下せしめ腦溢血・狭心症・心臓麻痺の危險發作を未然に防止する……殊に前驅症狀たる頭痛症狀の不快を速に輕快する
ハセスロール
製造發賣元　大阪・東京・京城　鹽野義商店

人人必備　萬人油